



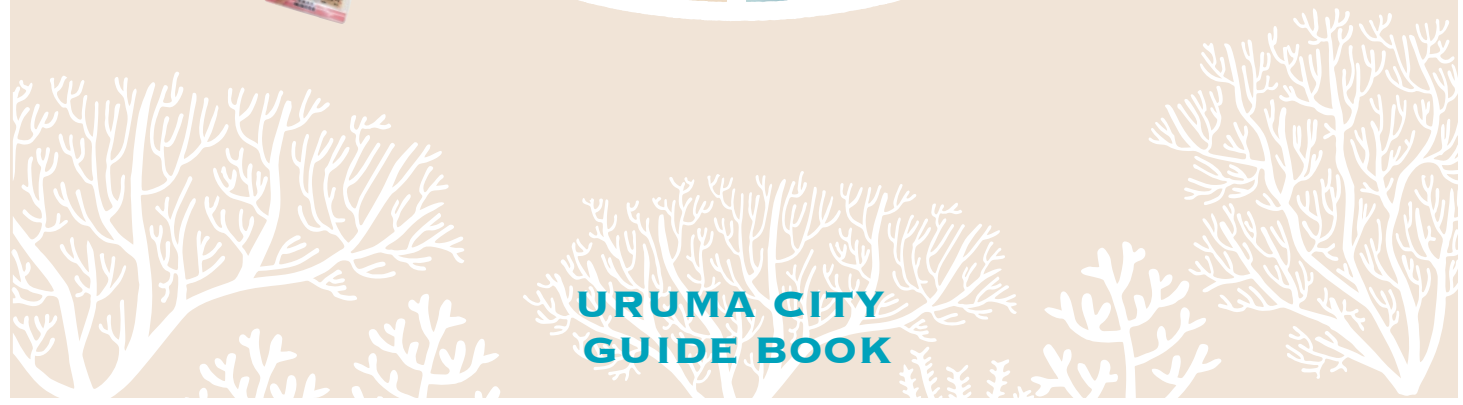
# うるま市

## 市勢要覧2023



だから住み良い

# うるま の まる



# CONTENTS

【目次】

- 01 コンテンツ  
Table of Contents
- 02 市長挨拶  
Message from the Mayor
- 03 うるま市市章・市民憲章  
Uruma City Emblem and Citizen's Charter
- 04 特集「うるまのまる！」  
Special Feature "Good Things All Around Uruma!"
- 04 心温まる！うるま市のスポット  
Places in Uruma That Will Warm Your Heart All Year Round
- 08 地元愛深まる、自然を生かした農水産業  
Farmers and Fishers Making the Most of Nature Will Make Uruma Your All-round Favorite
- 10 おいしいが集まる地域密着型直売所 うるマルシェ  
Urumarché, Community Farmers Market Where You Can Find Delicious Things All Around You
- 12 地域で支える「こどもの未来」  
"Children's Future" Supported by the Community
- 14 うるま市観光大使 HY スペシャルインタビュー  
Special Interview with HY, Uruma Tourism Ambassador
- 16 「うるま市」にまつわる著名人  
Celebrities Associated with Uruma
- 18 うるまのまちづくり  
Community Development in Uruma
- 20 世界遺産 勝連城跡  
World Heritage Site: Katsuren Castle Ruins
- 22 勝連城跡の歴史を目で見て肌で感じる あまわりパーク  
Amawari Park Where You Can See and Feel the History behind the Katsuren Castle Ruins
- 24 肝高の阿麻和利  
Kimutaka no Amawari
- 25 うるま市の祭り・イベント  
Festivals and Events
- 26 闘牛のまち・うるま  
Bullfighting Town Uruma
- 28 うるま市の豊かなエイサー  
Rich Heritage of Eisa
- 30 うるま市の「伝統文化」  
Traditional Culture
- 32 うるま市の史跡・遺跡・文化財  
Historic Sites, Ruins and Cultural Properties of Uruma
- 34 友好都市 盛岡市  
Friendship City Morioka
- 36 うるまの島々  
Uruma Islands
- 38 第2次うるま市総合計画  
The Second Uruma City Comprehensive Plan
- 52 行政／議会  
Administration and Council
- 54 資料編  
Data
- 64 うるま市マップ  
Uruma City Map



2005年(平成17年)4月1日に具志川市、石川市、中頭郡勝連町・与那城町の2市2町が合併し誕生した「うるま市」。  
沖縄県で3番目に人口が多い都市でありながら、勝連半島と10の島を有し、自然と都会との調和が取れた市です。  
近年では、市として様々な発展をしながら住みよいまちを目指しています。  
そんな魅力ある市を「うるまのまる」と題したテーマで伝えます。



要覧オリジナル  
動画もチェック！

## うるまの意味

### The Meaning of Uruma

珊瑚の島という意味で、沖縄の美称です。また、景観の見事な沖縄の島々を示す言葉で、海に面した素晴らしい景観を表し、新市が未来へ飛躍することと、美しい沖縄の心を世界に発信する願いが込められています。

## 市章の意味

### The Meaning of the City Emblem

うるま市の「う」の文字を図案化したもので、赤は太陽、緑は大地、青は海をイメージしています。豊かな自然の輪の中で、市民の融和と平和を表現し、金武湾と中城湾に面して発展する「うるま市」の明るい未来と更なる発展を象徴しています。

平成18年3月1日制定



## 市民憲章

### Citizen's Charter

うるま市は、豊かな自然と先人たちの築きあげた文化と伝統を大切にす、希望にみちた健康都市です。私たちは、このまちを愛し、おたがいの幸せを願い、ここに憲章を定めます。

- 一、すこやかで、心のかよう家庭と、思いやりのあるまちをつくります。
- 一、自然を生かし、花とみどりに包まれた、きれいなまちをつくります。
- 一、きまりを守り、ものを大切にする、住みよいまちをつくります。
- 一、働くよろこびと、若い力の育つ、元気なまちをつくります。
- 一、教養を高め、文化のかおり高い、魅力あるまちをつくります。

平成19年3月6日制定



## 2023市勢要覧 発刊のあいさつ

本市は、沖縄本島の中部東海岸に位置し、海中道路や海洋レジャーに適した多くの海浜を有するなど、風光明媚なまちです。また貴重な歴史遺産や文化財も数多く存在し、各地域のエイサーや獅子舞などの伝統文化が若い世代にもしっかりと受け継がれています。

また、市の伝統文化である闘牛は県内でも特に盛んで、「闘牛のまち」として知られており、観光資源の一翼を担っています。

令和3年度には、世界遺産「勝連城跡」の歴史を楽しみながら学ぶことのできる歴史文化施設「あまわりパーク」が誕生しました。

まちづくりには、「第2次うるま市総合計画」に示す本市の将来像「愛してます 住みよいまち うるま」の実現に向け、これまで推進してきた市民協働のまちづくりを踏まえながら、歴史・文化など、貴重な地域資源を生かし、人と人とのつながりを大切に、地域への愛着と誇りを持ち、笑顔で安心していきいきと暮らせる魅力あるまちづくりに取組むとともに、活力あるまちを形成するため、中城湾港新港地区への企業誘致を強化し雇用拡大に取り組んでまいります。

本要覧には紹介動画(QRコード)も掲載しており、新たな「うるま市の魅力」を感じていただき、多くの方々に、うるま市に「住みたい」、「行ってみたい」と関心を深めていただく一冊になれば幸いです。

## うるま市長 中村 正人

### Message from the Mayor on the Publication of 2023 Uruma City Guidebook

Located halfway up the east coast of Okinawa's main island, Uruma City is a picturesque place with its Mid-Sea Road and countless beaches that are ideal for all kinds of marine leisure activities. You will also discover a treasure trove of historical and cultural assets, as well as traditions, such as eisa (Okinawan folk dance) and lion dances from various regions, that have been passed down over generations.

Uruma has been dubbed the "Bullfighting Capital." The traditional contest between beasts is woven into the fabric of the city, drawing spectators from across the prefecture and beyond.

In 2021, Amawari Park was opened as a historical and cultural facility that visitors can enjoy while learning about the history of this World Heritage Site that is home to the Katsuren Castle Ruins.

The city has been working with its citizens on community development activities and continues to work toward realizing its vision to make Uruma a great place to live that is loved by all, as outlined in the Second Uruma City Comprehensive Plan. This means making an attractive community where people can live their lives to the fullest. We want to see a sea of smiling faces backed up by peace of mind and community pride, as we make the most of the common thread running through our rich local history and culture that holds us all together. At the same time, we will also work to boost employment by attracting more companies to the Nakagusuku Bay Port New Port Complex, with an eye to making Uruma a city that will thrive well into the future.

This guidebook also includes a QR code that will take you on a virtual tour of Uruma. Dive in and discover a whole new world that awaits you in Uruma, your next travel destination or place to live.

Masato Nakamura,  
Mayor



# 心温まる！うるま市のスポット

海に囲まれ、山がそびえるうるま市には、本島屈指のビュースポットをはじめ、琉球の歴史を物語る史跡まで盛りだくさん。自然あふれるうるま市の魅力をご紹介します。

## 自然豊かなうるま市

那覇から車で約50分。沖縄本島中部の東海岸沿いに位置するうるま市は、「さんごの島」という意味を持つ沖縄の言葉「うるま」という名が付けられているとあり、コバルトブルーの海に囲まれた風光明媚なまちです。北部には標高204mの石川岳がそびえ、東側に緩やかに傾斜しながら金武湾へと続く多様な地形や、南部に伸びる勝連半島の北方海上に点在する10の有人・無人の島々が、美しい風景を織りなしています。さらに勝連半島と島を結ぶ橋「海中道路」があることで、海、空、橋が調和したうるま市特有の景観が作り上げられています。

### Rich in Nature

Located halfway up the east coast of Okinawa's main island, about 50 minutes by car from Naha, Uruma is a city of scenic beauty surrounded by an cobalt blue ocean, just as its name, an Okinawan word meaning coral island, suggests. Mt. Ishikawa (204 meters above sea level) rising in the north and sloping gently east into Kin Bay, forms a breathtaking backdrop to the ten inhabited and uninhabited islands scattered across the sea just north of the Katsuren Peninsula that stretches out to the south. Here the Mid-Sea Road, a bridge connecting the Katsuren Peninsula with the islands, sets a scene that is unique to Uruma, where the sea, sky, and span all seamlessly blend into one another.

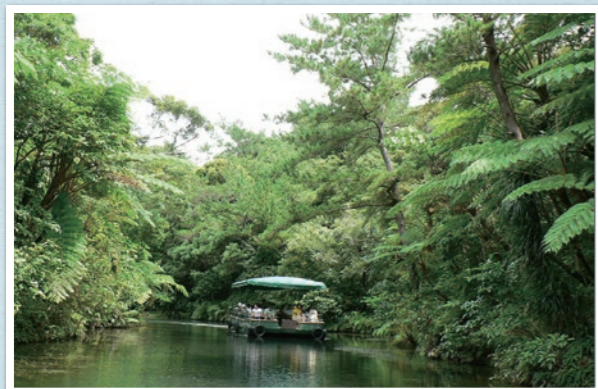
### Places in Uruma That Will Warm Your Heart All Year Round

Surrounded by the sea and towering mountains, Uruma boasts a bevy of historic sites that tell the tale of the Ryukyu Islands along with some of the best views on the main island. Check out some of the highpoints of Uruma, a place blessed with an abundance of nature.



# うるま市のおきスポット

うるま市の自然を満喫できる観光スポットをご紹介します！



## ビオスの丘

広大な園内には、多種多様な植物や亜熱帯ならではのカラフルなチョウや小動物がいっぱい生息しています。沖縄の豊かな自然がそのまま再現されており、美しい蘭の花をテーマにした植物園やジャングルクルーズが人気です。



## CAVE OKINAWA

沖縄本島中部最大級の鍾乳洞。縁起の良い紅白の鍾乳石など、大自然の力に圧倒されること間違いなし。照明や通路設備が整備されているので、気軽に冒険気分を味わえます。



動画もチェック



## 果報バンタ

勝連半島から海中道路でつながる離島、宮城島にある絶景スポット。沖縄の言葉で「幸せ岬」という意味を持ち、約120mの崖の上から壮大な海を見渡せます。



## 浜比嘉島

赤瓦屋根の家や石垣など、昔ながらの沖縄の風景が残る離島。琉球開びゃくの祖神・アマミチューとシルミチューが住んでいたと伝えられ、神聖な島として今なお信仰を集めています。



## アマミチューの墓

浜比嘉島から海に突き出たように浮かぶ岩の小島で、琉球開びゃくの祖神・アマミチュー、シルミチューの男女二神と他の神が祀られていると伝えられています。



## ムルク浜

浜比嘉島にある3つのビーチのうち、唯一管理されている天然ビーチ。ハイシーズンでも混み合うことが少ない穴場ながら、バナナボードなどのマリトレジャーも楽しめます。



## トゥマイ浜

平敷屋漁港からフェリーで行ける津堅島にあるビーチ。津堅ビーチとも呼ばれ、海水浴やシュノーケリングなどのマリトレジャーのほか、隣接するキャンプ場での宿泊もできます。

## Revitalizing the City with Tourism Based on Natural Attractions

Facing Kin and Nakagusuku bays, Uruma is dotted with spots where visitors can enjoy everything the sea has to offer. Topping the list is the 5-kilometer-long Mid-Sea Road that takes travelers from the Katsuren Peninsula to the four outlying islands. Stretching out across the sea, the bridge offers views of the ocean in all directions, and is a top driving spot.

Hamahiga Island, Henza Island, Miyagi Island, and Ikei Island, which can be reached via the Mid-Sea Road, each boast beautiful beaches where an unspoiled Okinawan landscape lends a unique charm. There is also much more to explore, such as historic sites that have been protected by nature for centuries and scenic spots with a superb view of the sea.

自然を生かした観光スポットで活性化  
金武湾と中城湾に面したうるま市は、海を楽しめる観光スポットが点在しています。まず挙げられる場所が、勝連半島から4つの離島へ向かう全長約5kmの海中道路。海上に伸びた橋から四方に広がる海を眺めることができ、絶好のドライブスポットとして人気です。  
海中道路で渡れる浜比嘉島や平安座島、宮城島、伊計島にもそれぞれ美しいビーチがあり、また昔ながらの沖縄の風景が残ることから独特の魅力を湛えています。他にも自然の中で長年守られてきた史跡や海を望む絶景スポットなど、見どころ豊富です。

## 海中道路

勝連半島と平安座島、浜比嘉島、宮城島、伊計島の4つの島嶼を結ぶ全長約5kmの海上の道路。両側をコバルトブルーの海に挟まれた海中道路からの景色はまさに絶景！海の中を走り抜けるような感覚が味わえるため、県内屈指のドライブコースとして人気です。



期待高まる

## 東照間商業施設



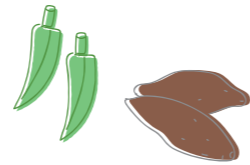
## 海中道路前に大型BBQ施設 東海岸 BBQ TERUMA ~east coast~ オープン！

勝連半島の突端付近に建ち、東海岸を一望できる県内最大級のBBQ施設。与那城町漁協直送の新鮮魚介類をはじめ、特選ブランド牛やアグー豚などの食材だけでなく、ドリンク類も豊富に揃うので、手ぶらでBBQを楽しめます。

Located near the tip of the Katsuren Peninsula, this is one of the largest DIY BBQ restaurants in the prefecture overlooking the east coast. Offering fresh seafood delivered directly from the Yonashiro Town Fisheries Cooperative Association as well as specially selected brands of beef, Agu Pork, and other ingredients on top of a wide selection of drinks, you can stop by without bringing anything and have your own barbecue.

# うるま愛が深まる、 じょ〜と〜名産品・特産品

野菜から果物、楽器、お菓子まで。うるま市の自然の恵みあふれる特産品です。



## 名 特 産

### うるまの埋蔵金

うるま市で採れた「黄金いも」とミネラル豊富な「ぬちまーす」が使われた饅頭。第26回全国菓子大博覧会で名誉総裁賞の受賞歴を持ち、おいしさはお墨付き。



### 黒糖屋さんのミックスナッツ

沖縄県産の砂糖と「ぬちまーす」をからめたミックスナッツ。ほんのり塩味なので、塩分を気にする方におすすめ。おやつやおつまみにぴったり。



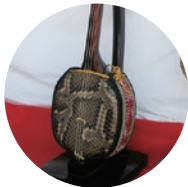
### ぬちまーす

宮城島の海水100%を世界初の特許製法により結晶化した、減塩、高ミネラルのヘルシーなパウダー海塩。ギネスや文部科学大臣賞など、世界で認められた味と品質を誇ります。



### 琉球三線胡弓

うるま市の市木、琉球黒檀やユシギ(イスノキ)などの堅い木材と、ニシキヘビ皮を使い、手作りされた楽器は、工芸品としての造形美も備えています。



### 津堅にんじん

津堅島で育てられたにんじん。鮮やかな色や甘み特徴です。βカロチンやミネラルなどの栄養価も高く、生でも調理してもおいしく食べられます。



### あま SUN

12月ごろに収穫時期を迎えることから、年末年始の贈答用に人気の柑橘。名前の通り濃厚な甘みがあり、果汁が多いのが特徴です。



## 特 産 品

### オクラ

初夏から初秋にかけて旬を迎えるオクラ。うるま市のオクラは、独特の粘り気とプチプチとした食感が特徴的です。また7月7日は「うるま市オクラの日」に定められています。



### もずく

全国で最も多い生産量を持つ勝連のもずくは、太くてしっかりとした歯ごたえが自慢。低カロリーでミネラル、食物繊維が豊富なうえ、さまざまな料理に活用できます。



### 照間ビーグ

180年の歴史を持つ、うるま市照間地区のビーグ(い草)。「照間ビーグ」の愛称とともに地域住民から長く愛され、平成27年土に農林水産大臣賞の受賞歴を持ちます。



### 黄金いも

その名の通り、鮮やかな黄色い果肉が特徴。ねっとりとした食感と甘みが人気で、そのままはもちろんでザート等の素材として活用されています。



### 小菊

平成18年に農林水産戦略品目の拠点産地として認定された小菊。11月～5月にかけて収穫が行われ赤・黄・白など色とりどりで、種類も豊富です。



### Bountiful Land and Sea

Uruma is blessed with abundant water resources and fertile land. It is known as one of the most important agricultural production areas in Okinawa Prefecture and designated as a region for producing the prefecture's ten strategic agriculture, forestry and fisheries products, including green beans, okra, and carrots.

With eight fishing ports, the city also has both wild fisheries, such as coastal fishing, and aquaculture. In particular, the aquatic cultivation of the super seaweed called mozuku is flourishing, occupying about 40% of the market in Okinawa Prefecture and boasting the largest production volume in Japan. In addition to promoting abundant agricultural and marine products, Uruma has developed a number of processed foods and local specialties using these products, ranging from traditional awamori (millet brandy) and crafts to more recent offerings that are attracting a lot of attention both inside and outside the prefecture.

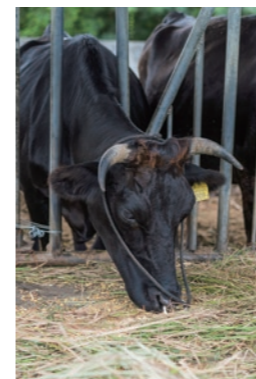


# 地元愛深まる、 自然を生かした農水産業

豊富で良質な水と土に恵まれたうるま市には、その中で育まれた農産物や水産物も豊富です。自然を生かして作られたうるま市自慢の特産品をご紹介します。

## 豊富な水資源、豊かな土地の恵み

豊富な水資源と肥沃な土地に恵まれたうるま市。県の農林水産戦略品目の拠点産地として、サイヤングンやオクラ、にんじんなど、合わせて10品目が認定を受けていることから、沖縄県における農業の重要な産地の一つとして知られています。また水産業についても、市内に8つもの漁港を持ち、沿岸漁業などの「獲る」漁業に加え、「育てる」漁業も行われています。なかでもモズクの養殖が盛んで、沖縄県で約4割のシェアを占め、全国一の生産量を誇ります。このように豊富な農産物や水産物の推進はもちろん、これらを活用した加工品や特産品も数多く開発され、伝統的な泡盛や工芸品から新しい製品まで、県内外から多くの注目を集めています。



## 生産者インタビュー

### 沖縄マンゴー農園マンゴラン 新垣智也さん



中部の土壌はマンゴー栽培に適していないと言われる中、うるま市の熱心なマンゴー農家により、栽培技術は独自の進化を遂げています。その農家を代表する存在が、「沖縄マンゴー農園マンゴラン」。農園主の新垣智也さんが作るマンゴーは品質の高さに定評があり、沖縄県マンゴーコンテストにおいて2度も優秀賞を誇ります。

元々 Web制作者だった新垣さんが本格的に家業のマンゴー栽培の道に進み、跡を継いだのが約6年前。マンゴー作りに励む傍らWebの知識を生かしてネットショップの運営にも力を注いだ結果、マンゴーのクオリティと相まって今や全国から注文が殺到するほどの人気農園に。市のマンゴー栽培の発展に貢献し続けています。

うるマルシェ  
インタビュー

「一般社団法人プロモーションうるま」  
中村薫さん

「株式会社ファーマーズ・フォレスト」  
宮城健さん

農水畜産品の直売所という枠を超え、加工者、販売者、消費者の交流の場として発展を続けるマルシェ。運営者の「一般社団法人プロモーションうるま」の中村薫さんと「株式会社ファーマーズ・フォレスト」の宮城健さんにお話を伺いました。「うるま市は農業が盛んで、拠点産地認定の品目数が県内で最多にもかかわらず、ブランド化が進んでいませんでした。その原因は農家と販売者のつながりが弱いためだと考えました」。それを解決し相乗効果を生み出せる場所として作り上げたのがうるマルシェでした。多くの機能が有機的につながってこそ価値が高まると、食品の販売だけでなく、飲食店、会議室なども備えた結果、来場者も、取引先の売上も増加。今後は生産から販売まで一貫してプロデュースできる強みを生かし、より消費者を惹きつける商品づくりを推進する予定です。



地産地消のオリジナル商品

うるま市自慢の食材が「買える」、「食べられる」ほか、レシピなども「学べる」うるマルシェは食のアミューズメントパーク。オリジナルで開発したいものの、ま〜さむんも多彩にそろえています。



おいしいが集まる地域密着型直売所  
うるマルシェ

「食を通じてうるまを元気に!」というコンセプトのもと、2018年にオープンした農水畜産品直売所



Urumarché

Urumarché, which opened in 2018, was created as an information dissemination center to promote the attractiveness of Uruma City's rich agricultural, marine, and livestock industries. It is a large-scale direct sales center offering a wide variety of attractive foods centering on Uruma City, including vegetables, meat, fish, and processed foods. With a total of more than 3,000 products and about 1,000 agricultural, marine, and livestock vendors doing business with it, it is one of the largest direct sales centers in the prefecture.

Urumarché also focuses on the production of original products, and the bread and gelato handmade in the store's workshop every day are very popular and sell out quickly. From bento boxes and prepared foods that can be taken out, to a wide variety of restaurants such as the "Uruma Citizen's Restaurant" and food court directly operated by Marche, many people from inside and outside of the prefecture come to enjoy shopping and eating out, and the place is bustling every day.

The site is also equipped with a large plaza where events can be held, a kitchen studio, conference rooms, etc. A system has been created that allows not only food producers, but also processors, sellers, and consumers to use Urumarché for their own purposes, making it a unique multifunctional facility in the prefecture that continues to evolve.

2018年にオープンしたうるマルシェは、うるま市の豊かな農水畜産業の魅力を広めるための情報発信拠点として作られました。野菜や肉、魚、加工食品など、うるま市を中心とした魅力的な食品が数多く揃う大型直売所で、総商品数は3000以上、取引のある農水畜産業者は約1000件と、直売所としては県内最大級の規模を誇ります。

うるマルシェではオリジナル商品の生産にも力を注いでおり、毎日店内の工房で手作りされるパンやジェラートは大人気で、すぐに売り切れてしまうものもあるほど。お弁当やお惣菜などテイアウトできるものから、マルシェ直営のうるま市民食堂やフードコートなどの飲食店も充実しており、県内外からショッピングや外食を楽しむに多くの人が訪れ、連日賑わっています。

敷地内にはイベントが開催できる大型広場やキッチンスタジオ、会議室なども備えられ、食材の生産者だけでなく、加工者、販売者、消費者がそれぞれの目的に応じて、うるマルシェを利用できる仕組みが作られ、県内には他に類を見ない、多機能な施設として進化を続けています。



発達クリニック Can 院長・  
うるま子どもステーション共同事業者  
遠藤尚宏さん

沖縄県は1人あたりの県民所得が全国で最も低く、ひとり親世帯の出現率が高い状況にあります。

近くに支える人がいないことで生活も精神的な余裕もなくなり、子どもに影響が出てしまうことも少なくありません。子どもは社会の希望であり未来をつくる存在ですから、地域全体で子どもたちにとって安全・安心な環境をつくってあげたいと思っています。

また今後は、子ども食堂などの展開も含め、行政と連携しながら検討していきたいと思っています。

## 安心して子育てできる環境づくり

うるま市では平成27年度に「うるま子ども子育て支援事業計画」を策定し、翌年に新設した「子ども部(現:子ども未来部)」が主体となっており、待機児童解消のため保育施設などの整備を推進しました。そして令和2年度から全ての市立幼稚園で3歳児からの受け入れができるようになり、さらに認定子ども園への移行も進められています。一方、平成30年度に開設された「うるま子育て世代包括支援センター」だいたい等々で、妊娠期から子育て期に渡るまで、切れ目のない子育て支援に取り組み、「子育てをみんなで支え合い、夢と希望にあふれるまち うるま」を基本理念に、安心して子育てできる環境と、子どもたちの育ちを見守る環境の両方をつくり続けています。



## Creating a Safe Environment for Raising Children

The City of Uruma formulated the Uruma City Child and Child Care Support Program Plan in fiscal 2015 and set up the Children's Department (now the Children's Future Department) the following year to take the lead in promoting the development of childcare facilities and more with an eye to eliminating waiting lists. In fiscal 2020, all municipal kindergartens started accepting children aged 3 years and up. The city has also been working to help them meet government requirements for certified childcare centers. At the same time, the city provides seamless child care support from pregnancy through the child rearing years via Daisuki, a municipal comprehensive support center for childcarers that opened in fiscal 2018, and other facilities. Based on the basic philosophy of making Uruma a place filled with dreams and hopes, where everyone supports each other in raising children, the city continues to create both an environment in which parents can bring up their children with peace of mind and a community where its members watch over their well-being.



# 地域で支える 「子どもの未来」

保護者も子どもも安心して暮らしていけるよう、うるま市全体で取り組むさまざまな支援をご紹介します。



子どもがいいきいきと育ち  
まちはぐくみ入る。



## うるま市子育て NEWS



### 福祉と医療の杜 うるま子どもステーション

子ども発達支援センターあすいろ、きゃん児童館、親子通園ぼかぼかが入居する「きゃんひだまりひろば【福祉棟】」と、発達クリニックCan、いしはらクリニックなど、地域の皆さまがご利用いただける「きゃんメディカルプラザ【医療棟】」で構成される複合施設です。



### うるま市子育て世代 包括支援センター『だいき』

健やかに安心して妊娠・出産・子育てができるよう、妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポート。保健師や助産師など様々な専門職員による相談やサービスを提供しています。



### うるま市子どもの 健康応援BOOKだいき

子育て世代包括支援センターから発行される、子育てにまつわる情報を掲載したハンドブックで、親子健康手帳とともに交付しています。





うるま市観光大使

# HY スペシャルインタビュー

2021年に「うるま市観光大使」に就任したHYは、メンバー全員が生まれも育ちもうるま市。それぞれが感じるうるま市の魅力を教えてください。

うるま市の思い出に残るおすすめスポットを教えてください。

**新里** 何といっても海中道路ですね。子どもの頃は友達と遊んだり、車の免許を取ったら真っ先にドライブに行ったり、デートしたり。今でも通るだけで元気になるパワースポットです。

**名嘉** 整備される前の海中道路もすごくよかったですよ。古い橋が残っていて、そこから好きな人の名前を叫びながら海に飛び込んだなあ(笑)。

**仲宗根** 確かに橋が整備される前の離島は独特の雰囲気があったよね。宮城島などに行くとき空気が違うというか…。古い生活が残っていてタイムスリップした感覚になったんです。天願川も思い出深いですね。名嘉俊とはいって同じ土で、みんなでお弁当を持って川のほとりでピクニックしたり、川で魚を捕まえたり。天願川は時期汚染が進んでしまったけど町の力でまたきれいに戻って、今では桜が植えられたり、このぼりがかけられたりして、子どもと楽しめるのが嬉しいですね。

**許田** 僕は生まれが貝志川なんですけど、高校で与勝に行って、屋敷名展望台から見る海の色が貝志川と全然違うことにびっくりしました。幾層もの青のグラデーションになっていて、まるで夢のように美しく。この夢のような世界から、家での普通の暮らしに戻れるのか?と思うたぐらい(笑)。今は改装工事中ですけど、いまだに地元の人もなかなか行かない穴場スポットです。

**名嘉** 屋敷名の海もいけど、気軽に行ける宇堅ビーチもいいよね。小学生の頃は放課後家族と一緒に海に行って、そこでご飯を食べてから帰宅してすぐ寝る、というのが最高のコースでした。

うるま市の魅力はどんなところですか?

**新里** 沖縄本島の真ん中にあるのが最高!やんばるにも那覇にも行きやすいから、とにかく便利です。

**許田** 車で浜比嘉島とかの離島に行きやすいのもいいですね。県内でこれだけ離島にアクセスしやすい場所って、あまりないんじゃない?いつでも自然に触れられるのが魅力です。

**仲宗根** 自然豊かだけど街も発展していて、自然と都会がちょうどいいバランスだから暮らしやすく、子育てもしやすいんです。あとは同じ市内でも、観光地があったり、ビーチやリアルな場所があったり、エリアによって特色、地域性がガラッと変わるのが面白い!

**名嘉** 場所ごとに個性が違うからこそ、郷土愛というか、もっと狭い「地域愛」が強くなって人も生まれるんだろうね。うるま市に温かい人が多いのは、地域愛の強さからだと感じますね。

最後に、これからうるま市に来る方にメッセージをお願いします。

**一同** うるま市で見た景色や時間、感じたものが、HYの歌の全てを作っています。HYにとってなくてはならない場所なので、たくさん巡ってその魅力を体感してみてくださいね。そしてぜひ、ローカルなお店のおじさんやおばさんに気軽に話しかけてみて、うるまの人の温かさにも触れてほしいですね。



自然も、街も。  
HYの歌のすべてが  
うるま市に詰まっている

【プロフィール】  
沖縄県うるま市出身の4人編成のバンド。メンバーは新里英之(しんざとひでゆき)、名嘉俊(なかしゆん)、許田信介(きよだしんすけ)、仲宗根泉(なかそねいずみ)。2000年に結成され、翌年に1stアルバム「Departure」をリリース。2003年の2ndアルバム「Street Story」がインディーズとして史上初のオリコン初登場4週連続第1位を記録した。

# 「うるま市」にまつわる 著名人



## 女優 比嘉愛未さん

■うるま市の好きなところ(こと)は？  
穏やかなところ。うるま市は東向きなので朝陽がとても綺麗に見えるのが素晴らしい環境だと思います。

■うるま市での思い出を教えてください  
幼少期から上京するまで10年以上住んでいた場所なので、私の青春が詰まっていますね。家族や、学生時代に友と過ごした大切な思い出がたくさんある場所です。

■うるま市でオススメなところ(場所)は？  
浜比嘉島は帰省するたびに必ず訪れます。海中道路をドライブして浜比嘉ビーチで黄昏るのがオススメです。

■うるま市で思い出の場所や良く利用した場所はどこですか？  
宇堅ビーチは、学校帰りに良く通っていました。制服のまま海に入って帰ったことも(笑)。良い思い出です。

【プロフィール】  
2007年NHK連続テレビ小説「どんど晴れ」でヒロインを演じる。その後、映画「カノン」「吟ずる者たち」ドラマ「コード・ブルー-ドクターヘリ緊急救命」「DOCTORS最強の名医」シリーズ、「推しの王子様」「日本沈没-希望のひと」「純愛ディソナンス」などドラマ、映画、舞台などの話題作に多数出演。

■うるま市の自慢を教えてください  
沖縄県で3番目に人口が多い都市である事。具志川、石川、中城郡勝連や与那城町などのそれぞれの魅力がたくさんあると思います。

■うるま市民へメッセージをお願いします  
うるま市の皆さん！故郷を離れて15年経った今だからこそ、帰るたびに、うるま市の魅力を感じています。珊瑚の島という名を持つ都市で生活出来た事も誇りに思います。これからも環境保護や人への思いやりを忘れずに共に生きていきたいと思います。

うるま市に関わりのある著名人をご紹介。テレビで活躍するあの人から、地元で有名なこの人まで。うるま市が誇る人物アンケートを実施

## パーソナリティ・タレント 真栄平 仁(ひーぷー)さん



【プロフィール】  
演出家、お笑いタレント。オリジン・コーポレーション所属・副代表、劇団O.Z.E代表。テレビ・ラジオ・CM、イベントの司会などマルチに活動。

■うるまの好きなところは？  
適度に都会で適度に田舎なところが好きです。もちろん地元の先輩や同級生も大好き！

■うるま市での思い出を教えてください  
昔、安慶名のまちゃぐわで遊んでいたことを覚えています。安慶名十字路に当時あった映画館にも良く通っていました！

■うるま市でおススメのところ(場所)は？  
海中道路と勝連城址と宇堅ビーチです。

■うるま市の自慢を教えてください。  
闘牛です！あと、うるま市には面白い人が多いのも自慢です。

■今後、うるま市がこうなればいいな！と期待していることは？  
もっとお笑いとか演劇などの舞台に触れる機会が増えたらいいですね。あと、市内に大学が出来たらいいですね！

■うるま市民へメッセージをお願いします。  
面白くて、人懐っこい人が多いうるま市民の皆さん！健康第一で楽しく働いて一生懸命遊びましょう！



## 株式会社徳森養鶏場 2代目代表取締役 ノーマン 裕太ウエインさん 33歳

■うるまの好きなところは？  
島嶼地域を筆頭に自然、農業が盛んな一方、観光地としても伸びしろが多く、市街地にも住み良さを感じます。

■うるま市でおススメのところ(場所)は？  
浜比嘉島。同じ田舎でも何か“時の流れ”が違う場所で心がやすらぎます。

■うるま市民へメッセージをお願いします。  
市の良さに改めて、みんな気づいて、磨けば、どこにも負けない地域を作れると信じています！  
胸を張れる市をみんなで作ろう！

【プロフィール】  
1989年アメリカ生まれ。モデルやプロダクトプレイヤーを経て2017年徳森養鶏場代表取締役就任。うるま市農業委員やたまごソムリエ資格などを保持。



## 陸上選手 平川 慧さん 17歳

■うるま市での思い出は？  
JOCジュニアオリンピック400mで全国一になった時に、地元の学校や友人、先生方、市役所関係の皆さんから祝福して頂いて、最高の表彰を受けたことです。

■うるま市でおススメのところ(場所)は？  
浜比嘉島と伊計島がオススメです。

■うるま市の自慢を教えてください？  
県内外の参加者が一同に集まる「あやはしロードレース」はうるま市を誇る最高のイベントの一つです。海中道路を渡り、橋から眺める景色が最高です。

【プロフィール】  
2022年JOCジュニアオリンピックカップ第16回U18陸上競技大会男子300m優勝。第38回U20日本陸上競技選手権大会 男子400m6位など

## うるま市公園 NEWS

市内には大小様々な公園があります。子どもの遊び場としての目的はもちろん、健康遊具やウォーキングコースなどを備え、幅広い年齢層の方に利用されています。

### うまんちゅ健康文化交流広場（字江洲）

#### 大きな船の遊具が目印！

中原小学校近くにある江洲うまんちゅ広場。市街地の真ん中にある公園なので、いつも多くのファミリーが利用しています。公園のシンボルになっている大きな船を模したコンビネーション遊具は子ども達に大人気。船長になったつもりで楽しく遊ぶことができます。まだ行ったことのないご家庭はぜひお越しください。



住所：うるま市字江洲539-1  
 駐車場：2台  
 設備：トイレ、屋根付きのベンチ、水飲み場、自動販売機

### 川崎公園（字川崎）

#### 大型の木製複合遊具

木のぬくもりや優しさを十分に感じることができる木製遊具がある公園。3人同時に滑ることの出来る大型スライダーを配置。さらにアスレチックの要素も加え、多くの子供たちがいっしょに遊ぶことができます。3×3の出来るバスケットコート、遊歩道や健康器具などもあるので、大人の運動不足解消にも最適です。



住所：うるま市字川崎222-5  
 駐車場：なし  
 設備：トイレ、屋根付きのベンチ、水飲み場

### 桃原公園（与那城桃原）

#### 離島の公園で家族とゆったり。

海中道路を渡った宮城島にある旧桃原小学校跡地を活用した公園。海に面しているため、さわやかな潮風を感じることができます。幼児向けのコンビネーション遊具のほか、健康器具、1週363mのウォーキングコースもあり、大人も楽しめる公園です。離島へのドライブしながら、お弁当を持ってゆったり過ごしてみたいかでしょうか。



住所：うるま市与那城桃原337  
 駐車場：14台  
 設備：トイレ、屋根付きベンチ、水飲み場

### 伊波公園（石川伊波）

#### 大きな遊具！大きなすべり台！

伊波公園には、3階建ての大きなコンビネーション遊具と、何度もすべりたくなるような大きなすべり台があります。ハンモック型のブランコや幼児向けの遊具もあるので、小さなお子さんがあるご家庭も親子で楽しく遊ぶことができます。外国人ファミリーも多いため、英語に触れる機会があるかもしれません。



住所：うるま市石川伊波950-1  
 駐車場：6台  
 設備：トイレ、屋根付きのベンチ、水飲み場、自動販売機

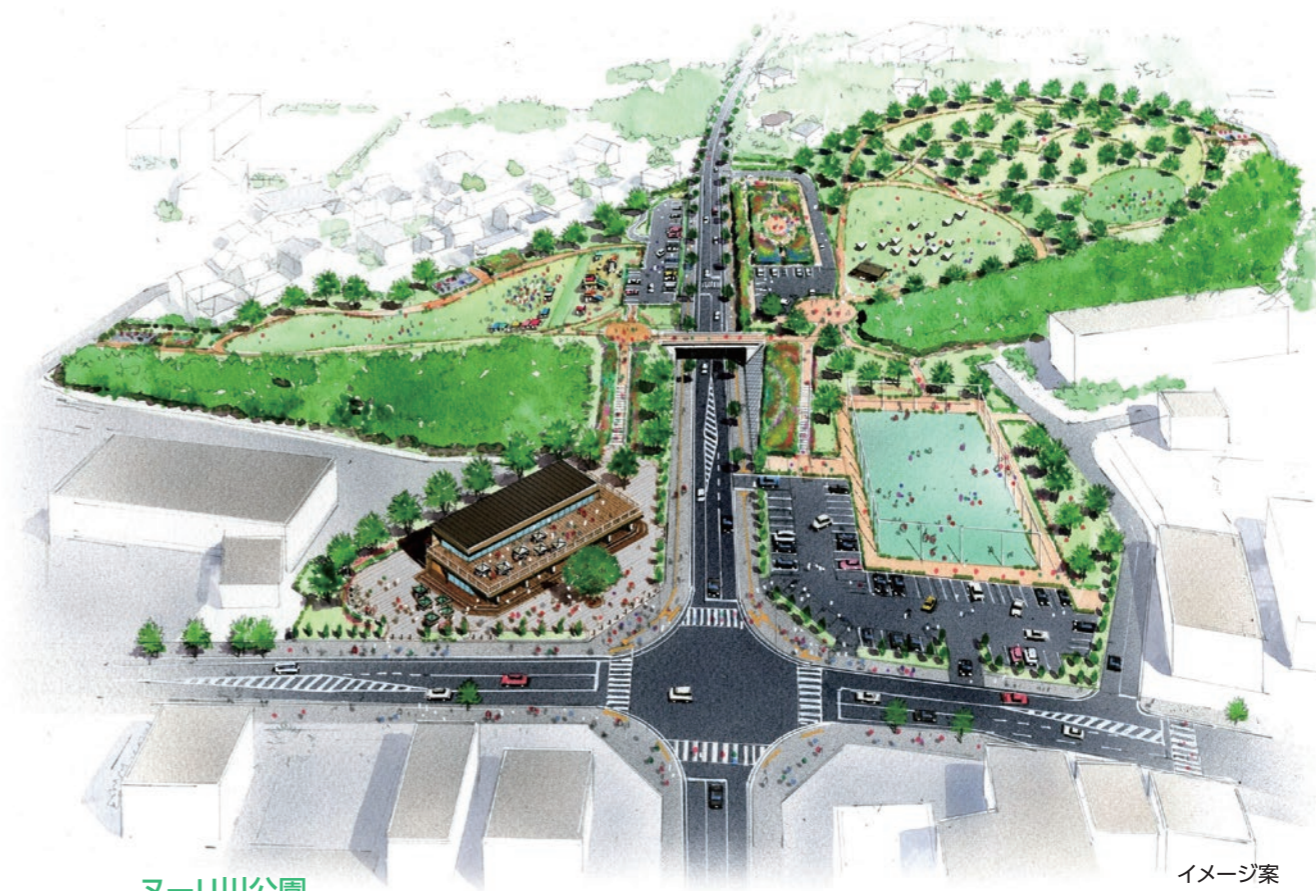
### Community Development in Uruma

Nuri River Park, which is currently being built around the concept of "park life that brings together the bustling energy of the city and healing power of nature," is designed to provide a place to interact with nature, create a meeting place for people of all ages, and offer unique experiences and learning opportunities.

Utilizing public-private partnerships to develop the park (P-PFI), the city aims to infuse the entire area with new life growing from this center of vibrant activity that will be a cherished symbol of the city.

現在、整備が行われているヌーリ川公園は「まちなかの賑わいと癒しから始まるパークライフ」をコンセプトに自然とのふれあい、多世代交流空間の創出、体験学習の場を提供できるように取り組んでいます。

また、公民連携を活用し公園整備のP-PFIの導入を行うことにより、公園の利便性を向上し、エリアとしての賑わいを図り、市民に愛されるシンボル公園を目指しています。



### ヌーリ川公園

市の中心市街地(安慶名・田場地区)にできる予定の6.2ヘクタールの大きな公園です。遊具だけでなくイベントのできる多目的広場や、公民連携を活用した収益施設(カフェ等)を整備し多世代の市民が利用できる魅力ある公園の実現に向けて整備が進められています。

イメージ案



詳しくはHPをチェック



### 勝連城跡周辺整備事業

世界遺産として登録されている勝連城跡は、年々観光客の来訪が増加しております。勝連城跡の価値と魅力を高めるため、複合的な文化観光拠点と、隣接する勝連城跡公園の整備を進めています。



詳しくはHPをチェック

深まるまちづくり

うるまのまちづくり

市内の自然を活かした公園整備や観光客増加に繋がる勝連城跡周辺の整備事業など、これからの市の発展に期待が高まる、まちづくりを紹介します。

深まる  
歴史と  
誇り

# 世界遺産 勝連城跡

うるま市の世界遺産、勝連城跡。2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として登録され、年間約18万人の観光客が訪れる人気の観光スポットです。

勝連半島の根元に位置する小高い丘の上、標高約98メートルの位置に築かれた城(ぐすく)です。正確な築城年代は不明ですが、発掘された中国や東南アジアの陶磁器などの出土品から、12〜13世紀に築城されたと考えられています。15世紀には、海外との貿易によってこの地域に繁栄をもたらした城主である阿麻和利(あまわり)が居城しました。また琉球最古の歌謡集「おもろさうし」には、繁栄していた様子を表す歌謡が数多く残っています。

自然の断崖を利用した難攻不落の城とされていますが、琉球石灰岩の切石が使われた城壁は曲線の上に築かれ、芸術的な美しさを湛えています。頂上からは、北に金武湾を囲む北部の山々やうるま市の島々を、南には知念半島や中城湾、中城城跡などを見渡し、沖縄有数の景勝地となっています。2000年に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとしてユネスコの世界遺産に登録されました。



琉球石灰岩の切石を使い、東西の丘陵をうまく利用して曲線状の城壁が築かれた勝連城。



## World Heritage Site: Katsuren Castle Ruins

The castle (gusuku) was built on a small hill at the base of the Katsuren Peninsula, approximately 98 meters above sea level.

The exact date of construction is unknown, but excavated Chinese and Southeast Asian ceramics and other artifacts suggest that the castle was built in the 12th or 13th century, and in the 15th century the castle was occupied by Amawari, a castle lord who brought prosperity to the region through overseas trade. Many songs expressing the prosperity of the area can be found in Omorosaushi, the oldest song anthology in the Ryukyu Islands. It is said to be an impregnable castle built on a natural cliff. The castle walls, made of hewn Ryukyu limestone, are built on a curved

In 2000, it was registered as a UNESCO World Heritage site as one of the "Gusuku Sites and Related Properties of the Kingdom of Ryukyu".

interview



うるま市文化財ガイドの会  
うるま市文化財案内人  
大里 勇貴さん

勝連城跡を歩きながら、約1時間かけて案内しています。阿麻和利の時代どのように勝連城は使われていたのか、引いては「グスク」とはどのような役割だったのかなどを実際に城跡を巡りながら学ぶことで、一層うるま市の歴史を身近に感じていただけたと思います。また勝連城跡の頂きからの眺望は素晴らしく、この風景をかつての城主たちも見ていたのかと感ずるのも、勝連城跡ならではの楽しみ方です。

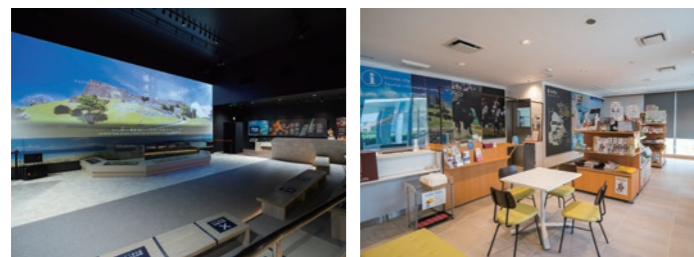


interview

うるま市企画部  
プロジェクト推進2課  
課長 岸本 力さん



うるま市では、勝連城跡を中心とした観光によるまちづくりを進めています。その一環として、うるま市の歴史や文化について楽しみながら学び、体験できる文化観光施設「あまわりパーク」が誕生しました。今後は周辺の景観を生かした公園施設やイベントスペースの整備も予定されており、市民や観光客が憩い、交流できる場所としてさらなる発展を目指しています。



# 勝連城跡の歴史を目で見て肌で感じる あまわりパーク

あまわりパークでは、勝連城跡やうるま市の歴史や文化を楽しみながら体感し、うるま市の観光の魅力に触れることができます。



動画もチェック

## Amawari Park

At the Amawari Park Historical and Cultural Complex, which opened in 2021 at the foot of the World Heritage Katsuren Castle Ruins, visitors can enjoy learning about the history and culture of Uruma City centering on the Katsuren Castle Ruins, including the Katsuren Castle Ruins (Gusuku) and the last lord (Aji) of the castle, Amawari, who was called a great lord. The museum has a permanent exhibition room, a special exhibition room, a multipurpose room, and a foyer where visitors can interact with each other. The permanent exhibition room displays valuable artifacts excavated from the ruins of Katsuren Castle, a detailed replica of the gusuku, and a large screen showing a video about the history of Katsuren Castle. In addition, a live theater in front of the screen will be used exclusively on Saturdays, Sundays, and holidays to present a performance guide for the extravaganza of "Kimutaka no Amawari," a modern version of kumiodori (dance). Visitors can enjoy the charm and excitement of the history and culture of the Katsuren Castle Ruins in a realistic atmosphere. The site also has a lush green plaza where events can be held and a tourist terminal that introduces sightseeing spots in Uruma City, and is being further developed as the city's tourist base, with plans to build a retail and dining facility and a park.



世界遺産・勝連城跡のふもとに2021年にオープンしたあまわりパーク歴史文化施設では、勝連城跡(グスク)や名君との呼び声も高い最後の按司(城主)・阿麻利和利あまわりなど、勝連城跡を中心とするうるま市の歴史や文化を楽しむながら学ぶことができます。館内は常設展示室と、目的に応じて利用できる企画展示室や多目的室、来館者が交流できるホワイエがあり、常設展示室には勝連城跡から発掘された貴重な出土品などが展示されているほか、グスクの詳細な再現模型や、勝連城の歴史に関する映像が映し出される大型スクリーンを設置。さらにスクリーン前に設けられたライブシアターでは、土日祝日限定で現代版組踊「肝高(きむたか)の阿麻利和利」番外編のパフォーマンスガイドが上演され、臨場感たっぷりに勝連城跡の歴史文化の魅力と感動を味わえます。また敷地内にはイベントも開催できる緑豊かな広場とうるま市の観光スポットを紹介する観光ターミナルがあり、今後は物販飲食施設や公園の建設が予定されているなど、市の観光拠点として更なる整備が進められています。





### うるま祭り Uruma Festival

毎年10月に2日間にわたって開催されるうるま市最大のイベントでは、市の名物である闘牛大会や肝高の阿麻和利、龍神伝説など、地域の伝統工芸を見ることができます。また、有名アーティストによるライブやご当地ヒーローショーなども行われ、その姿を間近で見ようと、大勢の観客が集まります。



## うるま市の祭り・イベント・行事 Festivals and Events in Uruma

うるま市では一年を通して様々な祭りやイベントが開催されています。歴史ある伝統文化をはじめ、市民参加型のイベントまで、胸が高まるうるま市を紹介します。

Uruma is the center of various festivals and events held throughout the year. Let's take a look at some of these traditional cultural events, including those you can take part in, whose roots stretch back far into the past.

### 全島獅子舞フェスティバル Okinawa Lion Dance Festival

悪霊を祓い、五穀豊穡・地域繁栄をもたらすとされている獅子舞。沖縄の獅子舞は、本土の獅子舞とは違い、体全体が毛に覆われています。各地域で獅子型は異なり、沖縄全島には約150以上の獅子舞があるといわれています。10月に開催されるこの大会では、沖縄各地で受け継がれる獅子が集結。勇壮な舞が披露されます。



### エイサーまつり Eisa Festival

旧盆が明けると、各地域のエイサー団体が集う「うるま市エイサーまつり」が開催されます。琉球王国時代から受け継がれている「伝統エイサー」から「現代版エイサー」など、各地域の多種多様でダイナミックな演舞、優雅なパチさばき、しなやかな足の運び、重厚感ある舞を堪能できます。



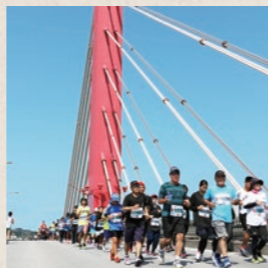
### 産業まつり Industrial Festival

市内産業の発展を目的に毎年12月に開催。農水産物や工芸品等を製造する業者の展示・販売、もずくやあまSUNといった市産品の直売など、うるまの魅力がぎゅっと詰まった2日間。やまいもの重さを競い合う「やまいもスーパ(勝負)」では、300kg以上のやまいもが市内から集められます。



### あやはし海中ロードレース大会 Ayahashi Mid-Sea Road Race

人気ドライブスポットの海中道路や平安座島、浜比嘉島を走るハーフマラソン・トリムマラソン大会は毎年3月上旬に開催されます。比較的平坦なコースですが、橋から眺める絶景と海風を体感しながらのレースは他ではなかなか味わうことができず、全国各地からランナーが参加します。



胸が高まる

## 「肝高の阿麻和利」

勝連城の歴史を語るうえで不可欠なのが、勝連城10代目の城主「阿麻和利」。市内の中高校生による現代版組踊「肝高の阿麻和利」は、国内外で大きな注目を集めています。



### Kimutaka no Amawari

Amawari, the last lord of Katsuren Castle, was known as a quick-witted maverick from an early age. When Lord Mochizuki, who ruled the castle before him, began drinking to the point that he neglected his public duties, Amawari conspired with others to take action. He hatched a plan to conceal weapons in sake vessels for the lord, and attacked Katsuren Castle by surprise, defeating Mochizuki and taking over as the lord of the castle himself. Amawari actively promoted trade and brought unprecedented prosperity to the Katsuren area, but the royal government was wary of his power. In order to protect the capital of Shuri, the king gave his daughter, Momoto-fumiagari, in marriage to Amawari. In 1458, Amawari defeated Gosamaru, the lord of Nakagusuku Castle, in a battle that marked the beginning of a campaign aimed at overthrowing the royal government in Shuri. Unfortunately for Amawari, his wife informed the king of his plot, which was thwarted by the royal army who killed the rebellious lord in a successful siege of Katsuren Castle.



### 肝高の阿麻和利 kimutakanoamawari

勝連城最後の城主「阿麻和利」は、幼い頃から機転の効く異端児として知られていました。当時勝連城一帯を支配していた茂知附が酒に溺れて政治を怠っていたため、阿麻和利は民衆と相談し、献上する酒器に武器を隠して勝連城に奇襲をかけ、茂知附を倒し、自らが城主となりました。阿麻和利は活発に交易を進め、勝連地域にかつてない繁栄をもたらしましたが、首里王府は警戒。王は首里を守るために娘の百度踏揚を阿麻和利に嫁がせました。阿麻和利は1458年に中城城の護佐丸を倒し、首里王府打倒へ動き出しましたが、妻から王府へその情報が渡り、逆に襲撃され、阿麻和利とともに勝連城は、落城してしまいました。

### Bullfighting Town, Uruma

Uruma hosts about 20 bullfights a year. The All-island Bullfighting Tournament, which is held in spring, summer, and fall, attracts tourists and bullfighting fans from all over the prefecture, at a venue that overflows with excitement.

Bullfighting has long been a popular pastime in Okinawa. Uruma is practically synonymous with bullfighting. More than two-thirds of the bullfighting competitions held in Okinawa Prefecture take place in Uruma. Uruma Ishikawa Multipurpose Dome in Ishikawa is the only covered bullring in the prefecture where you can enjoy bullfighting rain or shine. On top of that, the city is dotted with bullfighting arenas such as the Agena Bullring adjacent to the Agena Castle Ruins and the Iha Bullring located within a park. A bullring is a circular arena that is 18 meters in diameter surrounded by a steel railing. The space around the steel railing is the spectator area.

When you hear the word "bullfighting," you may think of Spanish-style bullfighting where the bull goes up against a man, but in Japanese bullfighting, it is a one-on-one fight between bulls. The competition harnesses the animals' natural instinct to fight. The All Island Bullfighting Tournament, held three times a year in Uruma, is a high-profile event that determines the strongest bull in Okinawa. It is a packed event attracting more than 3,500 spectators. Some bullfights can finish in seconds while others can last more than 30 minutes. Bulls are ranked by their weight and physique and broken down into three classes: lightweight, medium-weight, and open-weight. Some bulls in the open-weight class weigh over a ton. This clash between beasts in the bullring is an awesome spectacle to behold. Heated battles between bulls fighting with all their might is an impressive sight. The venue brims with excitement as bull trainers, known as seko, vociferously prod on the bulls to battle it out while the audience cheers at the top of their lungs.



動画もチェック



し、軽量級、中量級、無差別級の三つの階級に分かれています。無差別級では1トンを超える牛も登場。闘牛場の中で繰り広げられる牛と牛のぶつかり合いは迫力満点。限界まで闘う熱戦は感動的で、会場内は牛を勢いづかせ操る役割の勢子の掛け声と観客の熱い声援が飛び交い、熱気と興奮に包まれます。

闘牛と聞くとスペインの「人と牛の闘い」を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、日本における闘牛のルールは牛同士の一対一。闘うという本能を残した牛同士を闘わせる競技です。年3回行うま市で行われる「全島闘牛大会」は、沖縄一を決定する注目の大会。会場には3,500人以上の観客が集い、立ち見客で溢れかえります。試合時間は早くても数秒、長ければ30分を超える長期戦になることも。体重や体格を考慮

沖繩は古くから大衆娯楽として闘牛が親しまれてきました。その中でも「闘牛が盛んなまち」として知られているのがうるま市。沖縄県内で開催されている闘牛大会の2/3以上がうるま市で行われています。石川にあるドーム型の「うるま市石川多目的ドーム」は県内唯一の全天候型闘牛場。天候に左右されることなく観戦することができます。その他にも、安慶名城跡に隣接した「安慶名闘牛場」や公園内に併設された「伊波闘牛場」など、市内には闘牛場が点在。闘牛場は、周りを鉄枠で囲まれた直径18メートル円形の対戦場。鉄枠の外は360度が観客席となっています。

胸が高まる

## 闘牛のまち うるま

年間約20回の闘牛大会が開催されているうるま市。中でも春、夏、秋に開催される「全島闘牛大会」は県内各地から闘牛ファンや観光客が集まり、会場は熱気に包まれます。

### Rich Heritage of Eisa

Eisa, one of Okinawa's traditional performing arts, which corresponds to Bon Odori on the mainland, is a summer tradition in Uruma.

Each local youth association has its own unique costumes, dances, and sing-song shouts, which have been passed down over generations.

Eisa is a "nenbutsu" dance used to send off the spirits of returning ancestors on the last day of the Kyu Bon festival. Passed down over the ages, it is immensely significant to Okinawans who cherish their ancestors. Uruma is one of the most famous places in Okinawa for eisa. There are scores of youth associations, both old and new, that perform the traditional dance with groups from the various regions possessing their own unique style.

The Iha Youth Association in Ishikawa, which has been in existence since the early Showa period (1926-1989), performs its unique brand of eisa at a slow tempo. The young men wear costumes similar to karate uniforms while the young women carry instruments used in traditional Ryukyuu dance called "yotsutake" (a percussion instrument made out of bamboo). On the fourth day of Kyu Bon, a ceremony called "Hata Sugashi" is held in which a lion dance troupe parades through the community. The Ishikawa Ensa Preservation Society, which has no age restrictions, consists of members of all ages, from elementary school students to those in their 60s. Its style of eisa is performed only by men using bells called "sogu." The Tengan Youth Association in the Gushikawa area performs a super and dynamic dance. The Akano Youth Association, which has won the All-island Eisa Festival, is known for its beautifully choreographed movements and the variety of ways they play the paranku (small Okinawan hand drums). Their vivid green costumes also make a lasting impression. It is a powerful youth group that performs ten numbers in a row without a break. Yakena Eisa is a unique dance style that is over a century old. It is performed by dancers in gorgeous costumes who lower their hips close to the ground as they flip their parankus. The Yokatsu area's monk-style eisa is still performed as it was over 200 years ago. It is said to be the original form of eisa and performed by dancers in simple gray costumes. The most famous example is the Heshikiya eisa, which is the oldest in the prefecture.



祭りで優勝経験のある「赤野青年会」は美しいフォーメーション、パラエティに富んだパラインクの打ち方に特徴があります。鮮やかな緑色の衣装も印象的。1曲目から10曲目まで一度も休むことなく踊り通すパワフルな青年会です。継承100年を超える「屋慶名エイサー」ではきらびやかな衣装を纏い、独特の踊りである腰落しとパラインクの返しが受け継がれています。与勝地域にはシンブルなグレイの衣装を纏った「僧侶スタイル」のエイサーが残っており、中でも県内で最も古い歴史を持つ「平敷屋エイサー」が有名。200年以上の歴史があり、エイサーの原型とも言われています。

旧盆の最終日に、戻ってきた祖先の霊を送り出す念仏踊り「エイサー」は、先祖を大切に思う沖縄の人たちにとって大切な行事として受け継がれています。うるま市は県内でも有数のエイサーどころ。結成されて比較的年数の浅い青年会から長い歴史のあるエイサーがあり、各地域の青年会がそれぞれの型を持っています。

昭和初期から続いている石川地域の「伊波青年会」は、男性は空手着を思わせる衣装をまとい、女性は「四つ竹」と呼ばれる琉球舞踊に用いる楽器を持ち、ゆっくりとしたテンポで舞を魅せるのが特徴。旧盆4日目には獅子舞で集落を練り歩く「旗すがし」という儀式も行われます。年齢制限がなく小学生から60代までの幅広い年齢層が活躍するのは「石川エンサー保存会」。男性のみで構成され、「ソング」と言われる鐘を演奏に用います。ダイナミックで男気溢れる舞を見せるのは具志川地域の「三願青年会」。全島エイサー

胸が高まる

## うるま市の豊かなエイサー

本土の盆踊りにあたる沖縄の伝統芸能のひとつ「エイサー」は、うるま市の夏の風物詩。各地域の青年会はそれぞれに独自の衣装や踊り、掛け声を持ち、何百年と受け継がれています。



動画もチェック





### マーラン船の建造技術 (国指定無形民俗文化財)

琉球王国時代から伝わる木造船で、18世紀初頭に中国福建地方から伝来したといわれています。真っ赤な2つの帆が特徴の交易船で、琉球の島々及び日本の輸送に使われてきました。当時最も活躍した船で、山原船とも呼ばれました。うるま市の船大工・越來治喜さんが持つマーラン船の建造技術は市の文化財に指定されています。



### 津堅島の唐踊 (県指定選択文化財)

勝連半島からおよそ4km先の沖合に浮かぶ津堅島の伝統行事です。旧暦8月9日から15日まで行われる「八月遊び」の中で行われるもので、元々は八月踊りと称されていました。男性がパーラークー(小太鼓)を打ちながら首を左右に振って踊ります。「唐」は中国ではなく、異国風という意味づけだとされています。



### 伊波メンサー織 (市指定無形民俗文化財)

数百年の歴史を持つ貴重な織物で、市の文化財に指定されています。織り機を使用せず、竹や木の棒で作られた織り具を使うのが特徴で、日本に残る最も古い「イザリ織」という技法です。ひとつひとつ時間をかけて手作業で織っていきます。

## 魂を熱くする市民の誇り！うるま市の伝統文化

### 田場ティンペー (市指定無形民俗文化財)

田場集落は伝統芸能が盛んな地域です。うるま市の無形民俗文化財にも指定されているティンペーは、沖縄の古武術のひとつです。ティンペーは直径70cmほどの円形の盾のこと。片手にティンペーを、もう片方の手には長刀を持ち、鉦を持った相手と防衛技や攻撃技を演じます。



### 平敷屋エイサー (市指定無形民俗文化財)

県内で最も古い歴史を持つ青年会で、300年以上の伝統があるといわれています。1996年には、環境庁が選定した「地域で将来に残したい日本の音風景100選」にも選ばれました。僧侶の袈裟を彷彿とさせるシンプルな衣装と踊りは一見地味ですが、伝統の重みを感じさせてくれます。



### サングウチャー (市指定無形民俗文化財)

旧暦3月3日から3日間平安座島で行われる島最大の行事で、豊漁や航海安全を祈願します。旧暦3月3日は沖縄では「浜下り」が行われ、1年で最も大きな大潮となるこの日は、女性は海で身を清めるこの日には、島のあちこちに「招豊年」の旗が立ち、各家庭で伝統菓子「三月ポーボー」が焼かれます。

### 天願獅子舞 (市指定無形民俗文化財)

他の地域の獅子とは異なり角ばった顔つきをしている天願獅子舞は、うるま市指定の無形民俗文化財。中国からシーサーと一緒に沖縄に渡ったといわれている獅子舞は、旧盆や豊年祭の際に、場を清め邪気を祓うものとされています。獅子は一頭で舞い、単独で技を演じます。



# 胸が高まる うるま市の「伝統文化」

胸が高まる

先人から受け継がれた、うるま市の歴史ある伝統文化。いつの時代でも地域の人々が心の拠り所として大切に守られてきたうるま市の伝統文化をご紹介します。



### Traditional Culture

At the heart of Uruma beats a vibrant traditional culture that has been passed down over the ages from one generation to another. Let's explore the traditional culture of Uruma, a place that has been the heart and soul of the region for ages. One of the special attractions of Uruma is its performance folk arts that stretch back for generations. These time-honored traditions are still the pride of the community. Tracing their origins back to the Ryukyu Kingdom period, the city's best-known performance folk arts include eisa, in which youth associations perform in their own unique styles, the dynamic lion dance, and bullfighting, which is designated as an intangible folk cultural asset. These unique traditions have all been steadily passed down against the backdrop of turbulent events that saw the demise of the Ryukyu Kingdom and birth of the prefecture, the devastating Battle of Okinawa, post-war U.S. occupation, and Okinawa's final return to Japan in 1972. Dear to all our hearts, the traditional performing arts and culture that have been passed down over generations are our most precious intangible assets.

### 獅子舞

中国から渡来したと言われている獅子舞は、悪霊を祓い、弥勒世を招き、五穀豊稔、子孫・地域の繁栄をもたらすといわれ、代々受け継がれています。県外の獅子舞は一人で一体の獅子を演じるスタイルが一般的ですが、沖縄の獅子は二人一組で操るのが特徴です。



うるま市の魅力のひとつが長い歴史を持つ民俗芸能です。それらは先祖が大切にしてきた価値観に守られ、今でも地域の誇りです。市を代表する民俗芸能といえば、青年会ごとに独特な踊りをするエイサーや、勇壮な舞を披露する獅子舞、無形民俗文化財に指定された闘牛などが挙げられますが、起源は古く、琉球王国時代にまで遡ります。これらはすべて琉球王国から沖縄県、沖縄戦を経て、アメリカ合衆国による沖縄統治、1972年の沖縄本土復帰と、社会環境が大きく変化する中でも今日まで脈々と伝えられてきました。先祖代々受け継がれてきた伝統芸能・文化は、私たちの心の拠り所であり、形のない大切な財産です。

うるま市の歴史に名を残した人たち

# うるま偉人伝

Uruma Historical Figures

琉球王国時代から現代に至るまで、うるま市地域からは多くの偉人が輩出されました。

その中で、地域だけでなく沖縄の発展にも寄与した2人の偉人を紹介します。

Uruma has produced many notable people over the course of its history from the days of the Ryukyu Kingdom to present day. Here are just two of the greats who contributed to the development of Okinawa as well as the region.

沖縄再建に尽力した人道学博士



しきや・こうしん  
**志喜屋 孝信**  
1884~1955教育・沖縄民政初代知事

日本の教育者・政治家で、戦後初めての沖縄民政府の知事に就任。沖縄の復興に力を尽くしました。昭和11年に沖縄で初となる私立開南中学校を創設。学校を発展させるため英才教育を徹底的に行っていたため「ライオン先生」と呼ばれ恐れられていましたが、県教育界の第一人者として重きをなしました。昭和27年には、沖縄最初の大学である琉球大学の初代学長に就任しました。

**Koshin Shikiya**  
1884–1955. Educator and the first governor of Okinawa under U.S. Civil Administration

A Japanese educator and politician, Koshin Shikiya was appointed the first governor of Okinawa by the U.S. Civil Administration after World War II and was instrumental in the reconstruction of Okinawa. In 1936, Shikiya founded Kainan Junior High School, the first private school in Okinawa. He focused on educating the gifted in order to make the school grow and, due to his strict teaching style, was feared by his students who dubbed him “the lion.” He played an important role as a leading figure in the prefecture’s education system and in 1952, became the first president of Okinawa’s first university, the University of the Ryukyus.



おなは・ぜんこう (ぶーてん)  
**小那覇 全孝 (舞天)**  
1897~1969琉球芸能の達人

「沖縄のチャップリン」の愛称で親しまれた舞天の本職は歯科医師。プロ顔負けの琉球芸能の達人で、司会者、脚本家、プロデューサー、作詞・作曲家もこなすマルチタレントでした。戦後1/3の人口を失った沖縄で「生き残った者が元気を取り戻さないといけない。さあ、命のお祝いをしよう」と照屋林助、登川誠仁らとともに三線を片手に家々を訪ね歩き、戦禍で傷ついた人々の心を笑いとユーモアで励ました。

**Zenko Onaha (Buten)**  
1897–1969. Master of Ryukyu performing arts

Buten, fondly referred to as the Charlie Chaplin of Okinawa, was a dentist by profession. A master of Ryukyu performing arts whose skills were good enough to put any professional to shame, Buten was a multi-talented individual whose long list of professions included master of ceremonies, playwright, producer, songwriter, and composer. In the wake of a devastating war that claimed a third of Okinawa’s population, Buten together with other performers, including Rinsuke Teruya and Seijin Noborikawa, would go from house to house with sanshin (traditional three-stringed instrument) in hand to console hearts torn apart by war with laughter and humor, saying, “We survivors have to pick ourselves up and live again. Let’s celebrate life.”

戦後の沖縄を支えたチャップリン



## 安慶名城跡

昭和47年5月15日指定

別名は大川グスク。安慶名中央公園内にある史跡で、14世紀頃に安慶名按司によって築城されたといわれています。1972年には国の史跡に指定されました。自然の断崖と急傾斜を巧みに利用した山城は、外側と内側に二重の石垣を巡らす、県内では珍しい輪郭式のグスクです。



## 伊波貝塚

昭和47年5月15日指定

標高約90mの丘陵地の崖下に位置する貝塚で、大正9年に大川柏によって発見されました。貝層は厚さ60cm。ここから出土した土器は「伊波式土器」と名付けられ、縄文時代後期を代表する標準土器として知られています。



## 仲原遺跡

昭和61年8月16日指定

伊計島のほぼ中心にある遺跡で、沖縄で初めて発見された集落遺跡です。復元された縄文時代晩期の竪穴式住居跡を見学することもでき、県内でも最大規模を誇ります。遺跡からは土器や石器、骨製品が出土され、人骨も5体発見されました。



## 伊波城跡

昭和36年6月15日指定

約13~14世紀に今帰仁城主の子孫である伊波按司が築城した伊波グスクは、標高約90mの丘に位置します。現在は野面積みの城壁が残るのみですが、城跡は県の史跡文化財に指定され、敷地内からは14世紀に中国で作られた青磁の破片などが出土しています。



## 平敷屋製糖工場跡

平成27年1月26日指定

1940年に勝連平敷屋地域の11組の旧サターヤー組が合併して新設された共同製糖工場、現在その工場跡には煙突1基と貯水槽1基が残っています。戦前の製糖業の歴史を知るうえで価値のある遺跡として国の登録記念物に登録されています。



## 平安名貝塚

昭和31年10月19日指定

平安名集落の西方約400mの斜面で発見された貝塚で、平安名式土器や萩堂式土器、大山式土器、石製品、骨製品、貝製品などが見つかっています。



## ワイトウイ

平成9年4月23日指定

平安名集落の断崖を掘削して築かれた農道で「岩を割って取った」という意味からこう呼ばれていますが、正式名称は比殿(ヒドゥン)農道です。



## 犬名河

平成7年6月14日指定

伊計島の人々を支えてきた唯一の水源地。名前は、農夫がずぶ濡れで海岸から上がってくる犬について行き、浜で水場を発見した事が由来とされています。

胸が高まる

# うるま市の史跡・遺跡・文化財

うるま市には、琉球の開闢神話にまつわる史跡から、数千年前の住居跡、グスク時代、琉球王国時代、そして近代にいたるまでの史跡や遺跡が数多く残っています。うるま市ではこれらの史跡や遺跡を歴史文化遺産として大切に守り、その価値を後世に伝えていきます。

◆ **10周年、そしてこれからも。** ◆



## 盛岡市の祭り、食、工芸

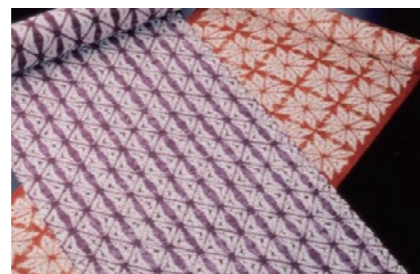
盛岡の夏のメインイベントとして知られている「盛岡さんさ踊り」は、藩政時代から受け継がれている伝統的な踊りで、毎年8月1日～4日の開催期間に240余りの団体が参加します。

旧暦の5月5日に地域の農民が鬼越蒼前神社に馬の無病息災を祈願したのが起源といわれる「チャグチャグ馬コ」は、百頭を超える馬が滝沢市の鬼越蒼前神社から盛岡市の盛岡八幡宮までの約15kmを鈴の音を響かせながら練り歩く伝統行事です。

食文化では「わんこそば」を筆頭に「盛岡冷麺」「じゃじゃ麺」を合わせた盛岡三大麺のほか「南部せんべい」「日本酒」などが有名。「南部鉄器」「紫根染」「南部古代型染め」などの伝統工芸も大切に伝えられています。



地酒



南部しほり紫根染・茜染



盛岡さんさ踊り



南部鉄器



チャグチャグ馬コ



わんこそば

### Festivals, Food, and Crafts of Morioka

Morioka's big summer event is highlighted by the Morioka Sansa Odori, a traditional dance that has been passed down since the time the area was under the rule of the Nanbu clan (ca. 17th century). More than 240 groups participate in the event that is held from August 1 to 4 every year. Chagu Chagu Umakko is a festival where more than 100 horses bedecked with bells parade along the 15-kilometer stretch between Onikoshi-sozen Shrine in Takizawa and Morioka Hachimangu Shrine in Morioka, jingling their bells all the way. This traditional event is said to have originated on May 5 of the lunar calendar when local farmers prayed at Onikoshi-sozen Shrine for the health of their horses. The most iconic dishes of Morioka include wanko soba, Morioka reimen, and jajamen (known as the three great noodles of Morioka). The city is also famed for its Nanbu senbei and sake. Traditional crafts such as Nambu ironware as well as dyeing techniques called shikon zome and Nanbu kodai katazome have also been passed down over the years with great care.

## Uruma's Friendship City in Iwate Prefecture 岩手県盛岡市と友好都市を提携 盛岡市 Morioka

うるま市出身の女優・比嘉愛未さんが盛岡市(岩手県)を舞台にしたNHKドラマ「どんと晴れ」に出演したことをきっかけに、盛岡市とうるま市の交流が始まり、平成24年7月31日には友好都市提携を結び、令和4年7月に10周年を迎え、両市、職員間の交流も行われています。

When Manami Higa, an actress and Uruma native, starred in the public television drama "Dondo Hare" set in Morioka (Iwate Prefecture), Uruma and Morioka saw a special relationship bloom, and on July 31, 2012, became official friendship cities. The two cities celebrated ten years of friendship in July 2022 and continue to engage in various exchanges with each other and between their employees.



### What's Morioka Like?

Nestled in the forest and lying in the shadows of the towering spires of Mt. Iwate and Mt. Himekami, Morioka, the prefectural capital of Iwate, is a city blessed by nature. Morioka is also known as the capital city of forests and water for the majestic rivers winding through it, such as pristine flowing waters of the Kitakami and Nakatsu.

The area at the foot of Mt. Iwate has been inhabited since the Paleolithic period. During the Jomon period, the area was dotted by settlements that thrived on the trade of farm and marine products.

With the Tohoku Shinkansen, Akita Shinkansen, and Tohoku Jukan Expressway running through the area, Morioka serves as a transportation hub for people traveling to other parts of Tohoku as well as the Tokyo metropolitan area. As a key location in the northern Tohoku region, the city aims to be a dynamic, people-friendly, cosmopolitan city. This northern star is expected to rise even higher with the growth of healthy and vibrant communities in the future.

## 盛岡市はこんな街

岩手県の県庁所在地である盛岡市は、岩手山、姫神山などの山並みと豊かな森に囲まれた自然豊かな街です。市街地には北上川や中津川などの美しい川が流れ、あふれ出る清らかな水に恵まれていることから「杜と水の都」とも呼ばれています。

岩手山の裾野に広がる土地には、旧石器時代から人々が暮らしはじめました。縄文時代にはいくつもの集落が点在し、森や野原の産物と海からの産物が交わる交易地として賑わうようになりました。

東北新幹線、秋田新幹線、東北縦貫自動車道などが通り、首都圏や東北各地への交通の要衝であり、北東北の拠点として「人々が集まり、人にやさしい、世界に通ずる元気なまち盛岡」をまぎぶりの目標として取り組んでいます。さらににぎわいと安らぎのある北東北をリードする拠点として今後の発展が期待されています。



動画もチェック



動画もチェック

### 伊計島

宮城島と橋で結ばれた面積1.72 km<sup>2</sup>の島。珊瑚礁からなり、全体が平坦な島。北側にはビーチがあり、小麦や黄金イモの栽培が盛んです。2月にはウマチー（麦の初穂祭）も行われています。

Ikei is a 1.72-square-kilometer low-lying coral reef island linked to Miyagi Island by a bridge. On the north shore of the island you will find beaches as well as farms where wheat and golden sweet potatoes are widely grown. February is the time for Umachi, the festival of the first ears of wheat.

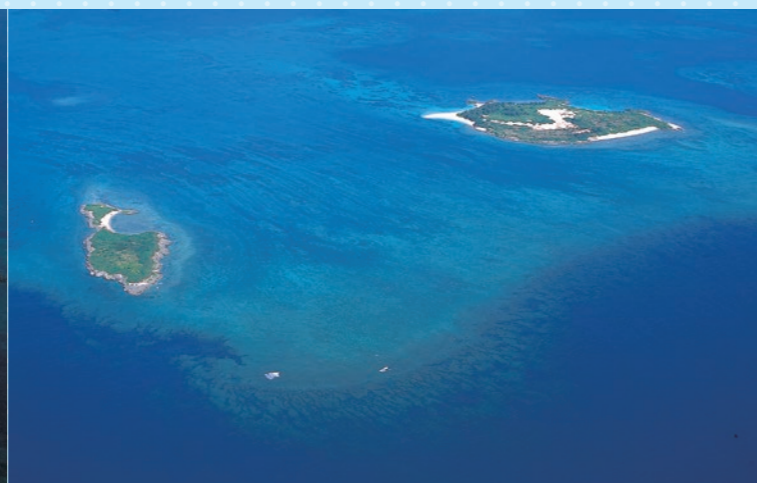
### 平安座島

勝連半島と海中道路で結ばれた面積5.44km<sup>2</sup>の島。昔、住民は海に生活の糧を求めて暮らし、戦前までは海上交易の中継地として栄えていました。現在でも、サングウチャーのナンザ拝みやハーリーなど、海に関する年中行事を大事に継承しています。

Henza is a 5.44-square-kilometer island connected to the Katsuren Peninsula by the Mid-Sea Road. In the past, residents lived by the sea that provided a livelihood, and until the prewar period, the island flourished as a transit point for maritime trade. Traditional annual events related to the sea, such as Sanguwacha where residents pray for health, prosperity, and a plentiful catch, as well as the hari dragon boat race, are still held today.



動画もチェック



### 津堅島

勝連半島の南東約4kmに浮かぶ面積1.88km<sup>2</sup>の島。島の中心部からニンジン畑が広がり、地元の方からは「ビティシマ（私の島であり、みんなの島である）」と呼ばれています。モズク漁が盛んで、マータンコーや八月祭りなど伝統行事も継承されています。

Tsuku is a 1.88-square-kilometer island located about 4 kilometers southeast of the Katsuren Peninsula. Carrot fields spread out from the center of the island, which the locals call Biti-shima (my island, everyone's island). Mozuku (brown algae) harvesting is a thriving industry here where traditional events such as Maatanko (festival with a flag bearer and people carrying sake bottles) as well as the August Festival have been held for generations.

### 浮原島・南浮原島

勝連半島の東約7kmに浮かぶ無人島。戦前は浜比嘉島の漁夫たちが居住していたこともあります。周囲の美しい海ではモズクの養殖が盛んです。

These are uninhabited islands about 7 kilometers east of the Katsuren Peninsula. Fishermen originally from Hamahiga Island used to live there before the war. The alluring sea surrounding the islands serve as fertile grounds for mozuku cultivation.



### 浜比嘉島

平安座島と浜比嘉大橋で結ばれている面積2.09km<sup>2</sup>の島。琉球神話の祖神であるアマミチュー、シルミチューが祀られており、集落には拝所や御嶽が点在。昔ながらの赤瓦屋根の民家が散在しており、沖縄の原風景が残っています。



動画もチェック

Covering 2.09 square kilometers of the ocean, Hamahiga island is connected to Henza Island by the Hamahiga Ohashi Bridge. It is here that Amamichu and Sirumichu, ancestral gods of Ryukyu mythology, are enshrined, and you will find places of worship and utaki (the Okinawan term for a sacred place) here and there across the island. Scattered across the island are old-fashioned red-tile-roofed houses that provide a glimpse of old Okinawa.



### 宮城島

平安座島と橋で結ばれている面積5.54km<sup>2</sup>の島。標高121mの高台から平安座島や勝連半島を望むことができ、「たかはなり」とも呼ばれます。宮城島の伝統である「ウシデーク」は市の無形文化財に指定されています。

Miyagi is a 5.54-square-kilometer island connected to Henza Island by a bridge. Also known as Takahanari, the island offers a great view of Henza Island and the Katsuren Peninsula from the summit of its 121-meter-high hilltop. The island's traditional dance called ushideku is designated as an intangible cultural asset by the city.



動画もチェック

うるまの島々  
サンゴ礁に囲まれた美しいまち、それが「うるま市」。  
沖縄本島の中部に位置し、緑あふれる町並みと  
有人、無人含めると10の島々からなる  
とても魅力的なまちです。

### Uruma Islands

Uruma is a beautiful city surrounded by coral reefs. Located in the middle of the main island of Okinawa, it is an inviting location with a lush green landscape overlooking ten inhabited and uninhabited islands.

基本目標  
1 みんなで支えあう  
健やかなまちづくり  
SUPPORT EACH OTHER HEALTHY TOWN  
DEVELOPMENT

基本目標  
2 子どもがいきいきと  
育つまちづくり  
TOWN DEVELOPMENT WHERE CHILDREN  
GROW UP LIVELY

基本目標  
3 まちの活力を生み出す  
産業づくり  
CREATE THE VITALITY OF THE TOWN  
INDUSTRIAL DEVELOPMENT

基本目標  
4 自然と調和した快適で  
暮らしやすいまちづくり  
COMFORTABLE IN HARMONY WITH NATURE TOWN  
DEVELOPMENT THAT IS EASY TO LIVE IN

基本目標  
5 郷土に誇りをもち  
未来を拓く人づくり  
TAKE PRIDE IN YOUR HOMETOWN CREATING PEOPLE  
WHO WILL OPEN UP THE FUTURE

基本目標  
6 市民と行政が一体となった  
協働によるまちづくり  
CITIZENS AND GOVERNMENT UNITED TOWN  
DEVELOPMENT BY COLLABORATION

愛しています 住みよいまち うるま

# 第2次うるま市 総合計画

うるま市は、金武湾と中城湾に面し、太平洋に延びる勝連半島と、その沖合の有人・無人の10の島々や、自然海浜、さらに石川の丘陵地の自然植生を有するなど、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれたまちです。

また、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つである勝連城跡をはじめ、貴重な歴史遺産や文化財が数多く保存されているほか、各地域のエイサーや闘牛、獅子舞などの伝統文化が、親から子へ、子から孫へ脈々と受け継がれています。

4市町合併からこれまで沖縄県の中部圏域をリードするまちとして発展を続けてきました。2017(平成29)年には「第2次うるま市総合計画」を策定し、本市の限りある資源、人材、公共施設等の効果的な活用を進め、若い世代からお年寄り、そして将来を担う子どもたちが、本市で安心して仕事をしながら生活できる未来に向けて、全力でまちづくりを進めてまいります。

第2次うるま市  
総合計画はこちらから。



### 健康づくりの推進

うるま市の健康増進計画「健康うるま21」を推進し、市民や学校、地域などと協働しながら、各種検診や健康にまつわる施設を活用し、誰もが主体的に健康づくりに取り組める活動を支援しています。また、地域医療との連携を強化しながら保健サービスを充実させることで、各ライフステージに応じた健康づくりを推進する一方、新型コロナウイルス感染症を含む感染症予防対策にも取り組んでいます。

Under its Health Uruma 21 health promotion plan, Uruma City is working with citizens, schools, and local communities on ways to ensure that everyone has access to medical examinations and health facilities to help them stay healthy. We are also building strong ties with local medical institutions to enhance health services with an eye to promoting health management at different life stages. At the same time, we are working on measures to prevent infectious diseases, including COVID-19.



### 高齢者福祉・介護保険事業の推進

高齢者が自立と尊厳をもって、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていくことができる地域社会を目指し、健康づくりと生きがいづくりを充実させます。

また、介護予防の取組みを推進するとともに介護サービス需要を踏まえた施設利用ニーズ等への対応を図ります。さらに、地域包括支援センターを中心とする支え合いの仕組みを構築し、高齢者の安全と安心を確保します。

Aiming to create a community where the elderly can live with independence, dignity, and peace of mind, however they would like, and in their own familiar neighborhoods, Uruma City is enhancing services that help them better manage their health and find purpose in life. We also promote preventive long-term care programs and are responding to the need for long-term care facilities in light of the demand for long-term care services. Furthermore, we will establish a mutual support system centered on regional comprehensive support centers to ensure the safety and security of the elderly.



### 障がい者福祉の推進

相談支援体制の強化に加え、多様で質の高い、障害福祉サービスの充実を図ります。また、障がい者が自らの選択により働き続けることができ、地域で自立し、安心して生活が継続できるように環境整備を行っています。さらに障がい者の重度化、高齢化、或いは若年性認知症等、あらゆる障がい者にとって必要な体制を、関係機関等との連携を通じて整えています。

Uruma City is working to provide a more diverse range of higher-quality welfare services for people with disabilities while strengthening its consultation and support system. We support a variety of employment opportunities for people with disabilities so that they can continue to work where they want as we create an environment in which they can continue to live independently and with peace of mind in their community. Furthermore, we are working with relevant organizations to provide services necessary for all individuals with disabilities, including those with severe disabilities, seniors, and younger people with dementia.



## みんなで支えあう健やかなまちづくり

CREATING HEALTHY COMMUNITIES WHERE EVERYONE SUPPORTS EACH OTHER



### 目指す姿を実現するために

- 市民一人ひとりが健康で、住み慣れた地域で自立して、豊かな生活を送ることができる環境づくりを推進します。
- みんなで困っている人を助け合い、自立を支援する環境づくりを推進します。
- 市民の誰もが安心して暮らしていけるセーフティネットの充実を図り、誰にでもやさしいまちづくりを推進します。

- We will create an environment in which each and every citizen can lead a healthy, independent, and prosperous life in a familiar neighborhood.
- We will create an environment where everyone helps those in need and supports their independence.
- We will provide a better safety net so all citizens can live with peace of mind and develop a community that is friendly for all.

### <目指す姿>

すべての市民が生涯にわたって健康に恵まれ、明るく生き生きとした生活を送ることができるまちを目指します。

また、保健・医療・福祉サービスと地域の支えあいにより、病気や障がい、要介護状態など支援が必要になっても安心して暮らせるまちを目指します。





### 配慮を要する 子どもへの支援の充実

配慮を要する子や障がい児、及び障がい児の保護者に対する相談・支援体制や適切なケアの充実を図り、切れ目の無い支援が提供できるようネットワークを強化します。また、障がいの有無にかかわらず教育・保育を受けるための環境（体制）を整備し、障がい状況、発達状況に応じた保育環境や教育、福祉サービスを展開し、児童生徒がその能力を最大限に伸ばし、安心して暮らせる社会を目指します。

Uruma City is working to expand its consultation and support network with seamless services designed for children with special needs and children with disabilities, as well as their parents. In addition to that, we are creating an environment (system) that makes education and childcare accessible to all, regardless of disability. That means providing childcare, education, and welfare services tailored to specific needs and developmental statuses, all with the aim of building a safe environment where children can reach their fullest potential.

### 子育て支援・少子化対策の充実

学童クラブや児童館など、子どもの居場所の確保、虐待の予防や早期発見・早期対応、ヤングケアラーの早期把握に努め、子どもの育ちを見守る環境を整えています。また、子ども医療費助成（中学卒業まで）の実施やひとり親家庭の生活支援、就学資金の貸し付けなどを通して経済的支援を実施します。さらに、各種施設等におけるサポートを継続的に充実させていきます。



We are creating a healthy environment for children that includes places for them to spend time, such as after-school clubs and children's centers, prevention and early detection of as well as response to abuse, and early identification of young caregivers. We also provide financial support through medical expense subsidies (until a child graduates from junior high school), livelihood support for single-parent families, and student loans, while at the same time continuously enhancing support programs at various facilities.



### 幼児教育・保育の充実

市独自の助成事業や、国の支援事業等を積極的に活用し、保育士等の処遇改善、継続雇用を促し、保育士の人材確保に取り組みんでいます。また、障がいのある幼児をはじめ、子ども達の多様な文化や環境に対応するための研修などを実施し、教育保育の質の向上にも注力しています。また、小学校への接続をスムーズにするために、連絡会等を開催し、保育所や小学校間の連携を強化しています。

Uruma City is actively utilizing its own subsidy programs, as well as national and prefectural support programs, to improve the compensation of childcare workers and encourage them to stay on the job, in order to maintain an adequate workforce of childcare professionals. We also focus on improving the quality of educational and childcare services by providing training and other programs to accommodate children from diverse cultural backgrounds and environments, including young children with disabilities. In order to facilitate the smooth transition to elementary school, liaison meetings and other events are held to strengthen cooperation between daycare centers and elementary schools.



## 子どもがいきいきと育つまちづくり

CREATING COMMUNITIES WHERE CHILDREN CAN THRIVE



### 目指す姿を実現するために

- 待機児童の解消や子育て世帯の相談支援など、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりを推進します。
- 子どもと子育て世帯のための健康・保健の充実や子どもの居場所づくりなど、子どもの育ちを見守る環境づくりを推進します。

- We will create a community where people can raise a family with the peace of mind that comes from knowing there is help and guidance if they need it.
- We will create an environment that keeps a keen eye on the health and well-being of children with adequate healthcare for the entire family and places for children to spend time.

### <目指す姿>

充実した子育て環境の中で、未来を担う子ども一人ひとりが個性や創造力を伸ばし、社会の一員として自立していけるまちを目指します。  
また、夢と希望をもって子どもを産み育てることができ、すべての子どもたちが健やかに育つことを社会全体で応援するまちを目指します。



### 企業誘致の推進

中城湾港新港地区に立地する企業を対象とした各種支援事業や新産業創出に加え、市内の研究開発型ベンチャー企業等、成長産業を育成・支援します。また固定資産税の減免、雇用奨励金の支給及び融資の優遇措置などの支援策を充実させ、立地企業のフォローアップ並びに環境整備を継続します。人材確保に関しても、企業に必要な人材の育成やU・J・I-TAイン人材のマッチング等を推進していきます。

We foster and support growing businesses, such as R&D venture companies in the city, while focusing on various support projects as we target companies located in the Nakagusuku Bay Port New Port Complex with an eye to cultivating new industries. We will also enhance measures designed to help businesses, including property tax cuts and exemptions, employment incentives, and preferential loans, as we continue to work with companies in the area to improve their operating environment. To help companies secure adequate human resources, we provide training and matching services for job seekers moving back to the Uruma area and those looking for a job outside the city.



### 雇用促進・就業支援の充実

仲嶺・上江洲地区への企業誘致や雇用拡大に向けた各種施策を推進し、街角コンタクトセンター(であえ〜る)での市独自の各種就業支援事業等によって、雇用者増加につなげます。また子育て世代や高齢者などを対象とした各種就業支援事業などによって、幅広い働く場を確保します。一方、学校・教育機関や地域企業と連携して、キャリア教育を実施し、子ども達、就業意欲の向上にも取り組んでいます。



We will implement various measures aimed at attracting companies and boosting employment in the Nakamine and Uezu areas. These measures include a number of unique support programs at the Machikado Contact Center (Deaeru) designed to put people to work. On top of that, we will create a wide range of job opportunities through various employment support programs targeting those typically of child-rearing age, the elderly, and others. At the same time, we are working with schools, educational institutions, local communities, and companies to provide career education that will spark young people's interest in the working world.



### 観光の振興

EISAや観光闘牛、マリンスポーツ等体験型観光商品及び観光物産に関するPRや経済効果を伴う振興や連携を強化しながら、スポーツや市内文化財・伝統文化などを観光資源として活用し、持続・発展的な観光振興を図ります。また、勝連城跡やあまわりパークを中心とした東海岸を新しい観光地として整備し、ブランディングやコンテンツの作成しつつ、サステナブルツーリズムにも取り組みます。

We continually leverage the strengths of sports, cultural assets, and local traditions to attract visitors while promoting local products as well as experience-based tourism related to eisa, bullfighting, and marine sports, as we forge partnerships that offer economic benefits. We are also working to turn the east coast area, home to the Katsuren Castle Ruins and Amawari Park, into a new tourist destination. Development includes branding and content creation, as well as the promotion of sustainable tourism.



## まちの活力を生み出す産業づくり

CREATING INDUSTRIES THAT INVIGORATE THE COMMUNITY



### 目指す姿を実現するために

- 豊かな自然環境や農業基盤を生かした農水産業の振興に向けた取組みを推進します。
- 魅力ある自然環境やEISA・闘牛・獅子舞等の伝統文化を活用した観光振興を推進します。
- 地域活性化を図るため、企業誘致の推進や地場産業の育成に向けた取組みを推進します。
- 中小企業の振興を図るため、中小企業と行政が連携し、経営の安定・向上に向けた取組みを推進します。

- We will implement initiatives to promote the agricultural and fisheries industries that take advantage of the city's rich natural environment and agricultural infrastructure.
- We will promote tourism by utilizing the attractive natural environment and traditional culture such as eisa, bullfighting, and the lion dance.
- We will implement measures to attract companies and foster local industries in order to revitalize our communities.
- We will work with SMEs to promote initiatives designed to stabilize and improve their operations in order to foster their growth.

### <目指す姿>

本市の誇る農水産物、歴史・文化、自然環境などの地域資源や地理的特性などを生かし、活力に満ちた経済活動(農水産業、観光、商業、工業など)が展開され、多様な雇用の機会をつくりだすまちを目指します。







### 公共交通の充実

公共交通の利用促進に取り組むとともに、既存の公共交通機関でカバーできない地域については、コミュニティバスやデマンド型交通など、新たな公共交通システムの導入も検討しています。

また、交通の要衝となっている安慶名地区においては、広域交通結節点としてスムーズな乗換えや、人が賑わう都市の拠点づくりに向けて検討を行います。

In addition to promoting the use of public transportation, we are looking into introducing new public transportation systems, such as community buses and on-demand transportation, in areas that cannot be covered by existing modes of public transportation.

We will look at ways to turn the transportation hub that is the Agena area into a bustling urban center that provides smooth connections between different modes of transport covering a wide region.

### 計画的な土地利用の推進と住環境の充実

第2次国土利用計画や個別計画であるうるま市都市計画マスタープラン、うるま農業振興地域整備計画などに基づき、人口減少に備え、メリハリがある土地利用の方向性を示します。

また、地域特性や自然環境が調和した、安全で計画的な土地の有効利用と居住環境づくりを推進します。



In the face of a declining population, we are moving toward well-balanced land use in line with the Second National Land Use Plan, Uruma City's own urban master plan as well as agricultural promotion region development plan, etc.

We also promote the safe and well-planned effective use of land and the creation of residential environments that are in harmony with regional characteristics and the natural environment.



### 循環型社会の形成と環境保全

市内の省エネ等や市全域の地球温暖化対策に取組み、ゼロカーボンシティーを目指します。また、ごみの排出抑制や再利用、資源化を推進・奨励し、悪臭の発生源となる畜舎等については衛生管理の指導を続け、快適な生活環境を確保・保全します。さらに自然環境の保全・地球環境の保全に対する意識を啓発し、自然環境と共生するための取り組みも実施しています。

We aim to become a zero-carbon city through energy conservation and other initiatives implemented at city hall along with measures to combat global warming at work throughout the city. We will also promote and encourage the reduction, reuse, and recycling of waste, and continue to provide guidance on hygiene management for livestock barns, which are sources of offensive odors, to ensure and preserve a pleasant living environment. We are also working to raise awareness of the need to conserve the natural environment as well as protect the global environment overall, and are making efforts to coexist in harmony with nature.



## 自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくり

CREATING SUSTAINABLE, PLEASANT, AND LIVABLE COMMUNITIES



### 目指す姿を実現するために

- 都市基盤の計画的な整備を進めるとともに、効率的・効果的で持続可能なまちづくりを推進します。
- 自然や歴史・文化を生かし、地域住民が主体となった景観づくりを推進します。
- 地球環境に負荷の少ない循環型社会の構築や、海や河川等の水質保全など自然環境の保全を図り、自然環境にやさしいまちづくりを推進します。

- We will promote the systematic development of urban infrastructure as well as efficient, effective, and sustainable urban development.
- We will promote citizen-led initiatives to shape landscapes that make the most of nature, history, and culture.
- We will promote environmentally friendly urban development by building a recycling-oriented society with less impact on the global environment and preserving the natural environment, such as protecting the quality of oceans, rivers, and other waterways.

### <目指す姿>

自然と調和した住環境の整備や計画的な土地利用を推進するとともに、美しい景観と環境に配慮した都市空間の形成を目指します。

併せて、道路や公園、公共交通、上下水道など質の高い都市基盤の整備を進め、安全で快適な暮らしやすいまちを目指します。



## 生きる力を育む 学校教育の充実

きめ細かな指導・支援・相談体制の充実、教育環境の整備等を推進することで、豊かな心とたくましい体、学力向上や望ましい生活習慣、食習慣等を育み、幅広い知識と柔軟な思考力を身に付けた国際性に富む子供を育成します。そして地域と共にあり、組織的・機動的な信頼される学校づくりを推進します。

Uruma City works to provide guidance, support, and consultation tailored to each child and develop an optimal educational environment designed to nurture a child's humanity, physical health, academic ability, healthy lifestyle and eating habits, etc., while fostering internationally minded children possessing broad knowledge and flexible thinking skills. We also promote the systematic but flexible operation of schools that work with the local community and are trusted by everyone.



## 青少年健全育成の推進

青少年が心豊かな人間性を育むため、青少年育成団体の活動を支援するとともに、保護者同士のふれあいや学び合いの場の構築、スポーツ・レクリエーション、文化活動等の場の確保に努めます。青少年の直面する様々な問題については、発達・成長過程に対応した必要な指導・助言を行うとともに、関連機関との連携を図ります。そして子どもたちが地域の中で健やかに成長できるまちを目指します。



In order to help teens and young adults develop as well-rounded individuals, we support the activities of youth development organizations, create opportunities for parents to meet and learn from each other, and provide opportunities for sports, recreation, cultural activities, etc. While helping kids to navigate today's complex world, we work with a host of institutions to address the various problems facing teens and young adults at various stages of their development and growth. We are building communities where children can grow and lead healthy lives.



## 学校教育施設の充実

うるま市学校施設長寿命化計画に基づき、小・中学校の老朽化対策や耐震化を行い、児童生徒の生命を守ることも災害時における地域の避難所としての役割も強化します。また安定的な学校給食を提供するために、給食施設の改修を進めます。そして児童生徒が安全・安心で良好な環境の中で学ぶことができるよう、学校における施設・設備の適切な維持管理や計画的な改修・改築を行います。

Following our plan to extend the lives of school facilities, Uruma City is working on obsolescence management and seismic retrofitting of elementary and junior high school facilities to protect the lives of students and strengthen these facilities' role as local evacuation centers in the event of a disaster. We are also moving ahead with renovation of school kitchens to ensure the stable provision of school lunches. Working to ensure that students can learn in a safe, secure, and comfortable environment, we perform adequate maintenance and systematic repair and renovation of all school facilities and equipment.



## 郷土に誇りを持ち未来を拓く人づくり

INSTILLING PRIDE IN COMMUNITY WHILE GIVING KIDS THE TOOLS THEY NEED TO BUILD A BRIGHT FUTURE



### 目指す姿を実現するために

- 子どもたちの生きる力の基盤として、「確かな学力」の向上や豊かな心・健やかな体を育み、意欲を育てる教育の充実に向けた取組みを推進します。
- 教育施設・設備などの教育環境整備を推進します。
- 市民のスポーツに対する関心を高め、その普及・振興のため、スポーツ環境の整備を図るとともに、スポーツ団体等の育成に向けた取組みを推進します。
- 文化遺産を次代へ継承するため、伝統文化及び芸能の保存・継承を推進します。

- Working to cultivate a zest for life, we will promote educational efforts aimed at fostering solid academic abilities, nurturing rich minds and healthy bodies, and motivating children to learn.
- We will improve the educational environment, including facilities and equipment.
- We will improve the sports environment and promote efforts to foster sports organizations with an eye to taking public interest in sports to new heights of popularity.
- We will protect and preserve traditional culture and performing arts in order to pass down our cultural heritage to future generations.

### <目指す姿>

未来を拓く人材を育成するため、「学校の力」「家庭の力」「地域の力」を発揮し、未来を担う子どもたちが「生きる力」を身に付け、高い志を持てる人づくりを目指します。また、すべての市民が生涯学習やスポーツを通して、生きがいのある心豊かな生活を送ることができるまちを目指します。先人の残した歴史・文化遺産を大切に保護し、それを活用するとともに、その歴史・文化遺産を次代へ継承していけるまちを目指します。





### コミュニティの充実と市民協働のまちづくり

地域における主体的なまちづくり活動を支援するとともに、地域コミュニティと行政が協働で行うまちづくりを推進します。その実現に向けて広報・広聴や市民相談を充実させ、魅力あるまちづくりに市民が参画できる機会を増やすとともに、異なる文化や風習を超えた国内外や地域内での交流・相互理解が促進された、市民と協働のまちづくりを目指します。

We support local community-building initiatives and promote collaborative efforts between the local community and government. That is why we are working to enhance public relations, public hearings, and citizen consultations. We are eager to create more opportunities for citizens to participate in building attractive places to live. Developing communities through partnerships with citizens that promote dialogue and mutual understanding will bridge the distance between different cultures and practices of people across the globe.



### 行政のデジタル化の推進

住民記録、地方税、福祉など主要な20業務を処理する情報システムについて標準化・共通化を進め、市民の手続きについても、マイナンバーカードやマイナポータルを活用したオンライン化を進めることで、利便性を向上します。そして市民がスピーディーな行政サービスを受けられるよう、また、行政事務がより効率的かつ効果的に処理できるよう、行政のデジタル化を推進します。

We are working to standardize information systems that handle 20 major operations, including resident records, local taxes, and welfare. On top of that, going online via the My Number Card and Myna Portal will make accessing a host of services more convenient than ever. We will also digitalize administrative procedures to provide speedy services to city residents and conduct administrative operations more efficiently and effectively.

### 防災・減災・防疫対策の推進

庁内の危機管理体制や地域の防災体制、さらに市民や来訪者の属性に応じた災害時の対応体制まで十分に構築し、危機発生時に受ける被害を最小限にできる体制を整えています。また、河川の氾濫等の災害に備えるために、排水路等を計画的に整備・保全します。そして自然災害や感染症等の危機から市民の生命、身体及び財産を守るため、誰もが安心して生活のできる安全で強靱なまちづくりを進めます。

We have fully developed systems to minimize damage in the event of a crisis, including crisis and disaster management systems within the municipal government as well as emergency response programs designed to meet the needs of our residents and visitors. Always vigilant to the prospect of disasters, such as river flooding, we systematically maintain and manage drainage channels and other facilities. Everyone can rest assured knowing that we are building safe and resilient communities designed to protect people's lives and property from natural disasters, infectious diseases, and other crises.



## 市民と行政が一体となった協働によるまちづくり

DEVELOPING COMMUNITIES THROUGH COOPERATION BETWEEN CITIZENS AND THE GOVERNMENT



### 目指す姿を実現するために

- 火災や事故、大規模災害等に対する備えと対策を進め、市民の命を大切にする災害に強いまちづくりを推進します。
- 効率的・効果的な行政サービスの提供を図るため、行政経営マネジメントを推進します。
- 市政情報の積極的な発信と共有を図り、市民の市政への関心を高めるとともに、市民や地域コミュニティと協働によるまちづくりを推進します。

- We will make preparations against fires, accidents, and large-scale disasters, while building disaster-resistant communities designed to protect people's lives.
- We will innovate administrative management to provide efficient and effective administrative services.
- We will actively disseminate and share information about the city government to make people more aware of what is happening as we work with residents to enhance their communities.

### <目指す姿>

市民の創意と意欲をまちづくりに最大限に生かすため、市民と行政がパートナーとしての役割と責任を果たしながら、個人・地域・行政がお互いを補完し合う、共に築き上げるまちを目指します。



市長・副市長



市長  
なかむら まさと  
中村 正人



副市長  
さくがわ あつし  
佐久川 篤

近年、私たちを取り巻く社会は、感染症の流行や地球規模の気候変動、自然災害、急速に進行する少子高齢化、公共施設や社会インフラの老朽化などの課題に直面しているなか、市民や地域のニーズを的確に捉え、市政運営に反映する政策立案力と実行力が重要となっております。

これを踏まえ「第2次うるま市総合計画・後期基本計画」においては、市の限りある行政資源を有効に活用し市政運営の効率性と透明性を高めるとともに、自治会や民間事業者等の皆様と行政が一体となった「市民協働のまちづくり」を進めてまいります。

また、市の将来像「愛してます 住みよいまち うるま」の実現に向け、地域資源を生かしながら、人と人のつながりを大切に、大好きうるま市を、笑顔で安心していきいきと暮らせる魅力あるまちとなるよう取り組んでまいります。

Mayor and Deputy Mayor

In recent years our society has faced challenges such as the spread of infectious diseases, global climate change, natural disasters, a rapidly declining birthrate and aging population, as well as the aging of public facilities and social infrastructure. In moving forward against this backdrop it is crucial to have the ability to formulate and implement administrative policies that incorporate the exact needs of our citizens and communities.

Working with this in mind, phase 2 of the Second Uruma City Comprehensive Plan will make effective use of the limited administrative resources of the city to enhance efficiency and transparency. At the same time we will promote community development initiatives through joint efforts of community associations, private business operators, and the city government.

In order to realize our vision of making Uruma a great place to live that is loved by all, we are building an attractive community where people can live their lives to the fullest. We want to see a sea of smiling faces backed up by peace of mind and community pride as we make the most of the common thread running through our rich local history and culture that holds us all together.



議長・副議長



議長  
ひが なおと  
比嘉 直人



副議長  
きやん つとむ  
喜屋 武力

市議会は、市民の代表として選挙によって選ばれた30人の議員で構成され、市の予算や条例などの重要な事項について審議し、市の意思を決定する議決機関です。

市議会は年4回(2月・6月・9月・12月)開かれる定例会と、必要に応じて開かれる臨時会があります。

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも傍聴することができます。

議会では、数多い議案等を専門的な立場で効率的に審議を行うために、四常任委員会(総務・建設・教育福祉・市民経済)と議会運営委員会、特別委員会を設置しています。議員は、市長から提案される議案だけでなく、市民の要望である請願や陳情などの審議にあたります。

Council President and Vice President

The Uruma City Council is a voting body consisting of 30 council members elected to represent the citizens of the city. It deliberates on important matters, such as the city's budget and ordinances, and makes decisions on matters facing the city.

The council has regular meetings held four times a year (February, June, September, and December) and extraordinary meetings held as necessary.

Plenary sessions are open to the public and can be observed by individuals or groups.

The council has four standing committees (each specializing in either general affairs, construction, education and welfare, and civic economy), a steering committee, and a special committee with the expertise needed to deliberate on various bills. Council members deliberate not only on bills proposed by the mayor, but also on petitions presented by citizens.

行政／議会

Administration and Council

うるま市はひとつ、  
市民協働のまちづくり



# 歴代市長・議長

Past Mayors and Council Presidents

歴代市長	初代	知念 恒男
	2代	島袋 俊夫
	3代	//
	4代	//
	5代	中村 正人

歴代議長	初代	崎原 弘
	2代	島袋 俊夫
	3代	西野 一男
	4代	//
	5代	大屋 政善
	6代	幸地 政和
	7代	比嘉 直人

# 土地および気象

Land and Climate

## 位置・面積・範囲

北緯	26° 22' 45"	最も高い場所：石川岳 204m 最も長い川：天願川 (流域面積 31.61k m) (流路延長 12.20km)	面積 87.01k m <sup>2</sup> (H26.10.1現在)	
東経	127° 51' 27"		極東 与那城伊計	東経 128° 00' 15"
			極西 石川嘉手苅	東経 127° 47' 17"
			極南 勝連津堅	北緯 26° 14' 29"
			極北 石川	北緯 26° 27' 01"

## 基地面積(令和3年3月現在(沖縄県HP基地の概況より))

市の面積	施設名	面積					群別
		国有地	県有地	市有地	民有地	計	
うるま市 86,140	キャンプ・コートニー	66	0	1	1,272	1,339	海兵隊
	陸軍貯油施設	59	-	190	471	720	陸軍
	キャンプ・マクトリアス	33	-	1	345	379	空軍・海兵隊
	嘉手納弾薬庫地区	31	0	1,010	836	1,877	空軍・海兵隊
	天願棧橋	15	-	-	16	31	海軍
	ホワイト・ビーチ地区	217	1	1	1,349	1,568	海軍・陸軍
	津堅島訓練場	16	-	-	-	16	海兵隊
	浮原島訓練場	-	-	-	254	254	その他
	海上自衛隊沖縄基地隊	10	-	-	76	87	海上自衛隊
	海上自衛隊沖縄基地隊 具志川送信所	7	-	-	162	169	海上自衛隊
	陸上自衛隊勝連高射 教育訓練場	20	-	-	172	192	陸上自衛隊
	計	474	1	1,203	4,953	6,632	

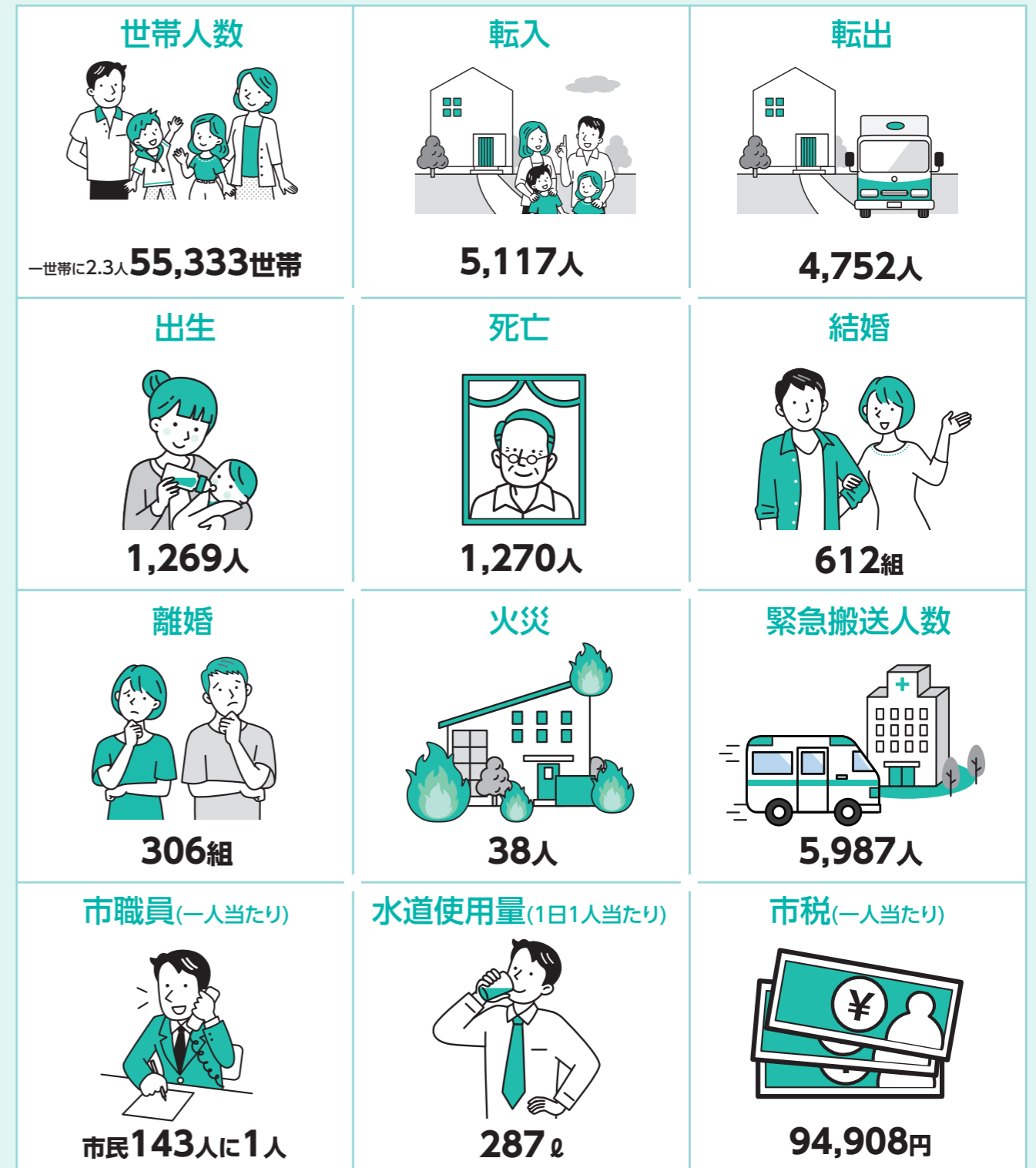
注 1.面積欄が「-」となっているものは、該当数字がないものである。  
2.面積欄が「0」となっているものは、表示単位に満たないものである。  
3.計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。  
資料：沖縄県知事公室基地対策課「沖縄の米軍及び自衛隊基地(統計資料集)」

# 資料編

Data

## 統計から見る市民の暮らし

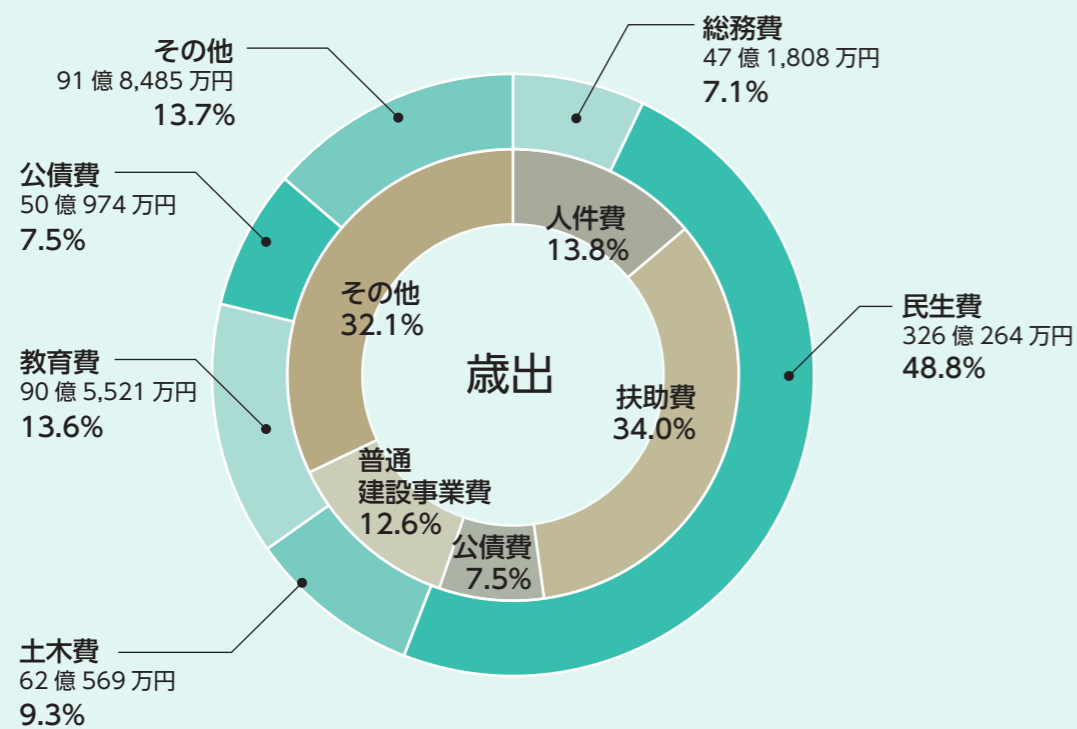
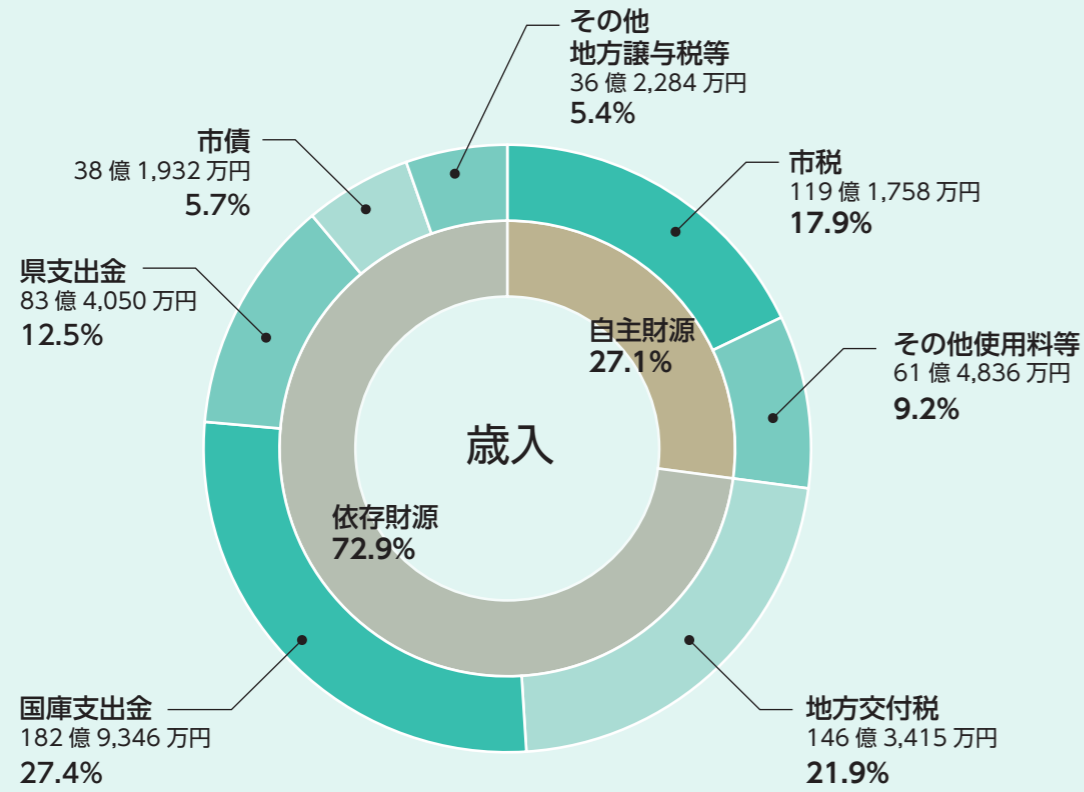
令和3年4月～令和4年3月



# 財政

Public Finance

令和4年度 うるま市の予算一般会計予算  
667億7,621万円



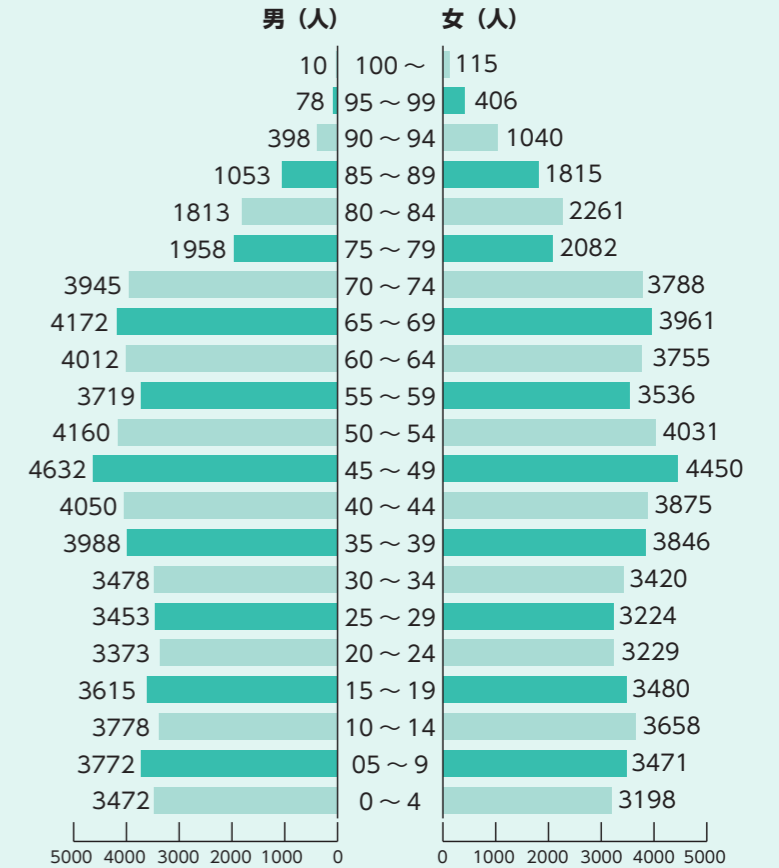
# 人口

Population

人口ピラミッド【5歳階級別】令和3年度末(令和4年3月31日現在)

単位：人

年齢層	男	女	計
0～4	3472	3198	6670
5～9	3772	3471	7243
10～14	3778	3658	7436
15～19	3615	3480	7095
20～24	3373	3229	6602
25～29	3453	3224	6677
30～34	3478	3420	6898
35～39	3988	3846	7834
40～44	4050	3875	7925
45～49	4632	4450	9082
50～54	4160	4031	8191
55～59	3719	3536	7255
60～64	4012	3755	7767
65～69	4172	3961	8133
70～74	3945	3788	7733
75～79	1958	2082	4040
80～84	1813	2261	4074
85～89	1053	1815	2868
90～94	398	1040	1438
95～99	78	406	484
100～	10	115	125



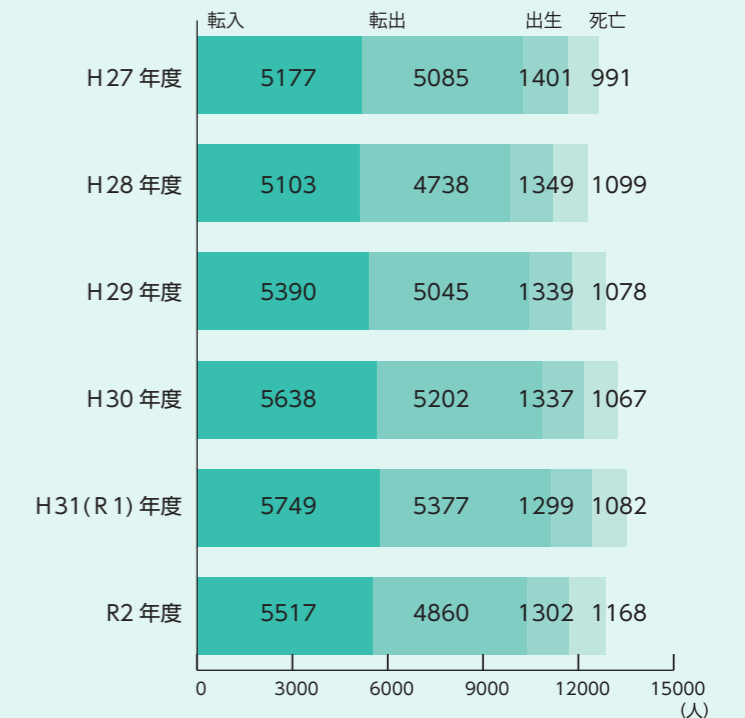
## 世帯と人口の推移

各年度末(3月31日現在)現在

年次	世帯数 (戸)	総数 (人)	男 (人)	女 (人)
平成24年度	46,757	120,340	60,210	60,130
平成25年度	47,694	120,686	60,367	60,319
平成26年度	48,638	121,585	60,888	60,697
平成27年度	49,615	122,087	61,148	60,939
平成28年度	50,564	122,702	61,511	61,191
平成29年度	51,537	123,308	61,824	61,484
平成30年度	52,696	124,014	62,322	61,692
令和元年度	53,746	124,603	62,707	61,896
令和2年度	54,747	125,394	63,021	62,373
令和3年度	55,333	125,570	62,929	62,641

資料 市民課

## 人口動態



# 教育・福祉

## Education and Welfare

### 公立保育所

施設名	電話
市立あげなこども園(本園)	972-5242
市立あげなこども園(分園)	972-3847
市立伊波こども園	964-2980
市立きむたか保育所	978-4209
市立与那城保育所	978-2456

### 幼稚園

施設名	電話
与那城幼稚園	978-3130
南原幼稚園	978-4200
平敷屋幼稚園	978-4010
津堅幼稚園	978-2141
田場幼稚園	973-5240
具志川幼稚園	973-5241
高江洲幼稚園	973-5238
赤道幼稚園	973-1217

### 認定こども園

施設名	電話
天願こども園	988-5178
へしきや・かなさこども園	987-8266
まことかわさきこども園	972-5239
中原こども園	973-6280
ふくよか彩橋こども園	977-7611

### 児童館等

施設名	電話
みどり町児童センター	972-6200
なかきす児童センター	974-1309
屋慶名児童館	978-6082
宮城こども広場	977-7924
いしかわ児童館(チャレンジ館)	964-6051
きむたかこどもセンター	978-2066

### 小学校・中学校

施設名	電話
市立天願小学校	973-3359
市立高江洲小学校	973-3243
市立兼原小学校	973-3350
市立あげな小学校	972-3566
市立田場小学校	973-3364
市立中原小学校	973-6810
市立赤道小学校	973-1218
市立具志川小学校	973-3536
市立川崎小学校	972-3367
市立伊波小学校	964-2088
市立城前小学校	964-2086
市立宮森小学校	964-2077
市立南原小学校	978-2225
市立勝連小学校	978-2222
市立平敷屋小学校	978-2223
市立津堅小・中学校	978-2141
市立彩橋小・中学校	977-8102

### 中学校

施設名	電話
市立高江洲中学校	973-3207
市立あげな中学校	972-3276
市立具志川東中学校	973-1212
市立具志川中学校	973-3355
市立伊波中学校	965-3384
市立石川中学校	964-2087
市立与勝中学校	978-2220
市立与勝第二中学校	978-2648
県立与勝緑が丘中学校	978-5230

### 高等学校

施設名	電話
県立前原高等学校	973-3249
県立具志川高等学校	973-1213
県立具志川商業高等学校	972-3287
県立中部農林高等学校	973-3578
県立沖縄高等特別支援学校	973-1661
県立石川高等学校	964-2006
県立与勝高等学校	978-5230

# 農業

## Agriculture

### 家畜の飼養農家数と頭羽数

	肉用牛		乳用牛		豚		採卵鶏	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数
平成26年	189	3,817	1	22	45	24,786	63	31,163
平成27年	188	3,973	1	22	40	24,792	63	32,273
平成28年	185	4,110	1	22	39	22,006	64	32,834
平成29年	184	4,199	1	22	41	22,681	61	32,143
平成30年	187	4,362	1	22	35	21,334	57	31,856
令和元年	188	4,398	1	9	27	15,734	38	31,333
令和2年	194	4,824	1	10	28	18,229	34	31,286

農家数(戸)、頭羽数(頭)  
資料 県農林水産部 家畜・家さん等の飼養状況調査

### 小菊生産・出荷・販売推移

	作付面積(a)	出荷数量(県外出荷)千本	出荷額(県外出荷)千円
平成29年	142.5	55,813(55,580)	930,672(929,184)
平成30年	132.2	47,137(47,071)	835,968(835,588)
令和元年	139.2	49,934(49,973)	860,897(860,549)
令和2年	124.3	46,767(46,573)	817,223(815,264)

資料 農政課産地協議会資料 より

### 野菜の作付面積、収穫量

	作付面積(ha)	収穫量(t)
平成29年	94	1,983
平成30年	75	1,462
令和元年	75	1,577
令和2年	59	1,216

資料 沖縄県農林水産部園芸振興課  
野菜の作付面積、収穫量及び出荷量

### 地目面積

(各年1月1日現在 単位:㎡)

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
総面積	86,079,835	86,140,000	86,140,000	87,010,000	87,010,000	87,020,000	87,020,000	87,020,000	87,020,000	87,020,000
宅地	19,089,759	19,221,016	19,311,047	19,507,343	19,643,584	19,839,592	20,038,131	20,296,883	20,563,446	20,898,930
田	291,142	289,813	289,296	281,472	279,823	278,007	274,671	272,261	271,876	272,557
畑	25,020,737	24,791,810	24,614,302	24,354,812	24,163,731	23,957,722	23,661,279	23,513,207	23,285,513	22,851,548
原野	11,547,026	11,412,261	11,352,781	11,356,830	11,336,007	11,313,266	11,257,575	11,241,765	11,255,760	11,146,376
その他	30,131,171	30,425,100	30,572,574	31,509,543	31,586,855	31,631,413	31,788,344	31,695,884	31,643,405	31,850,589

資料 土地に関する概要調査  
総面積は国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」より

# 文化財

## Cultural Properties

### 国指定文化財

種別	名称	指定年月日
1 史跡 (世界遺産)	勝連城跡	昭和47年5月15日
2 史跡	安慶名城跡	昭和47年5月15日
3 史跡	伊波貝塚	昭和47年5月15日
4 史跡	仲原遺跡	昭和61年8月16日

### 国登録文化財

種別	名称	指定年月日
1 登録記念物 (遺跡関係)	平敷屋製糖工場跡	平成27年1月26日

### 県指定文化財

種別	名称	指定年月日
1 有形文化財	勝連間切南風原村文書	昭和52年7月11日
2 有形文化財	三線翁長開鐘	昭和30年5月23日
3 有形文化財	三線真壁型	平成6年3月15日
4 史跡	平安名貝塚	昭和31年10月19日
5 史跡	伊波城跡	昭和36年6月15日
6 天然記念物	チャーン	平成3年1月16日
7 選択文化財	津堅島の唐踊り	昭和53年3月24日

### 市指定文化財

種別	名称	指定年月日
1 有形民俗	東恩納平良家葬祭具	昭和56年10月15日
2 有形民俗	伊波金細工鍛冶道具	昭和56年10月15日
3 建造物	嘉手苅観音堂	昭和59年6月12日
4 有形・無形民俗	伊波メンスー織具・織技能	昭和63年11月15日
5 史跡	平敷屋タキノ	平成2年3月26日
6 有形民俗	南風原の村獅子	平成2年3月26日
7 有形民俗	伊波ヌール墓	平成6年3月4日
8 工芸品	三線真壁型 (大型)	平成6年3月4日
9 工芸品	三線平仲知念型 (大型)	平成6年3月4日
10 工芸品	三線鴨口与那型 (中型)	平成6年3月4日
11 有形民俗	地頭代火の神	平成6年3月31日
12 史跡	アマミチューの墓	平成6年3月31日
13 有形民俗	シルミチュー	平成6年3月31日
14 建造物	ヤンガー	平成7年6月14日
15 名勝	犬名河 (インナガー)	平成7年6月14日
16 建造物	ガーラ缸 (ばし)	平成7年6月14日
17 有形民俗	宮城御殿 (ナグスクウドゥン)	平成7年6月14日
18 有形民俗	与佐次川 (ユサチガー)	平成7年6月14日
19 史跡	平安座西グスク	平成7年6月14日
20 天然記念物	クボウグスクの植物群落	平成9年4月23日
21 有形民俗	中の御嶽	平成9年4月23日
22 史跡	ヤマトゥンチュウ墓	平成9年4月23日
23 史跡	ワイトゥイ	平成9年4月23日
24 無形民俗	南風原の獅子舞	平成11年3月10日
25 無形民俗	平安名のウムイ・クエーナ	平成11年3月10日
26 無形民俗	平敷屋エイサー	平成11年3月10日
27 無形民俗	天願獅子舞	平成11年7月15日
28 無形民俗	田場ティンペー	平成11年7月15日
29 建造物	吉本家	平成12年11月7日
30 史跡	新川・クボウグスク周辺の陣地壕群	平成16年3月3日
31 史跡	兼筒段ジョーミーチャー墓	平成17年2月16日
32 史跡	田場ガー	平成17年2月16日
33 史跡	大田坂 (ウフタビラ)	平成17年2月16日
34 史跡	沖縄諮詢会 (しじゅんかい) 堂跡	平成17年3月1日
35 史跡	東恩納博物館跡	平成17年3月1日
36 史跡	石川部落事務所	平成17年3月1日
37 無形民俗	越来治喜 (マラン船の建造技術)	平成17年3月4日
38 無形民俗	宮城ウシデーク	平成17年3月4日
39 史跡	藪地洞穴遺跡	平成29年3月17日
40 無形民俗	うるまの闘牛	平成30年7月13日
41 史跡	宮城島のヒータチ (火立て) 跡	平成30年7月13日
42 無形民俗	平安座のサングウチャー	令和2年4月13日
43 無形民俗	上江洲のウフガー	令和2年4月13日

# 市内施設

## City Facilities

施設名	電話	施設名	電話	施設名	電話
うるま市役所 (代表番号)	974-3111	うるま市安慶名闘牛場	923-7612 (観光振興課)	豊原	973-1312
うるま市石川出張所 (市民課)	965-5609	うるま市石川多目的ドーム		高江洲	973-3571
うるま市勝連出張所 (市民課)	978-7193	うるま市民の森公園	923-7600 (維持管理課)	前原	973-4635
うるま市与那城出張所 (市民課)	978-2655	うるま市野島の森公園		志林川	973-9009
うるま市健康福祉センター「うるみん」 (総合案内)	973-4007	うるま市勝連浦ヶ浜公園		新赤道	973-6076
		うるま市勝連ふれあいパーク		みどり町一二	974-5480
うるま市民芸術劇場	973-4400	いちゅい具志川じんぶん館	982-4140	みどり町三四	974-5839
うるま市石川会館	965-5630	石川地域活性化センター舞天館	982-5254	みどり町五六	972-5606
うるま市きむたかホール	978-2219	中部北環境施設組合	972-6619	曙	965-4780
うるま市生涯学習・文化振興センター「ゆらてく」	988-5508	うるま警察署	973-0110	南栄	964-4263
うるま市地域交流センター	972-2111	石川警察署	964-4110	城北	965-2111
うるま市立石川地区公民館	964-3433	沖縄県警察学校	964-2788	中央	964-1771
うるま市立勝連地区公民館	978-7194	うるま地区交通安全協会	974-3825	松島	964-6060
うるま市立与那城地区公民館	978-6836	石川地区交通安全協会	964-3410	宮前	965-1113
うるま市立中央図書館	974-1112	具志川郵便局	973-3205	東山	965-4297
うるま市立石川図書館	964-5166	安慶名郵便局	974-4618	旭	965-4520
うるま市立勝連図書館	978-4321	志林川郵便局	973-4340	港	965-4964
海の駅あやはし館	978-8830	東具志川郵便局	973-5080	伊波	965-1807
うるま市立石川歴史民俗資料館	965-3866	江洲郵便局	973-8350	嘉手苅	964-4350
うるま市立海の文化資料館	978-8831	石川郵便局	964-2042	山城	965-4233
うるま市立与那城歴史民俗資料館	978-3149	石川城前郵便局	965-6866	石川前原	965-7021
うるま市具志川総合体育館		石川東恩納郵便局	964-2529	東恩納	964-3255
うるま市具志川総合グラウンド		与勝郵便局	978-2533	美原	965-4713
うるま市具志川庭球場	973-0230	勝連郵便局	978-2442	南風原	978-2235
うるま市具志川喜屋武マープ庭球場		平安座郵便局	977-8108	平安名	978-2237
うるま市具志川野球場		与那城郵便局	978-8425	内間	978-2238
うるま市具志川グラウンドゴルフ場		具志川	973-3407	平敷屋	978-2231
うるま市具志川ゲートボール場	973-5383	田場	973-6069	津堅	978-7510
うるま市石川体育館	965-5121	赤野	973-9212	浜	977-8450
うるま市石川運動場		宇堅	973-3558	比嘉	977-7227
うるま市石川庭球場		天願	972-3573	照間	978-2233
うるま市石川野球場		昆布	972-3574	与那城西原	978-2236
うるま市石川プール	965-3939	栄野比	972-3551	与那城	978-2230
うるま市勝連総合グラウンド		川崎	972-3471	饒辺	978-2232
うるま市勝連B&G海洋センター・体育館・プール	978-6040	西原	973-3427	屋慶名	978-2228
うるま市与那城総合公園陸上競技場	978-1047	安慶名	972-6052	平安座	977-8127
うるま市与那城多種目球技場		平良川	973-6059	桃原	977-8182
うるま市与那城庭球場		上平良川	973-3493	上原	977-8166
うるま市具志川消防署	975-2001	兼筒段	973-3552	宮城	977-7924
うるま市石川消防署	965-0831	米原	973-3431	池味	977-8256
うるま市勝連消防署	978-3283	赤道	973-3432	伊計	977-7373
平安座出張所	977-8999	江洲	973-3001		
		宮里	973-9013		
		喜仲	979-0503		
		上江洲	973-3502		
		大田	973-3555		
		川田	973-3556		
		塩屋	973-3455		



# うるま市花・市木等

## うるま市の花

### サンダンカ

アカネ科。花期は周年。沖縄三大名花の一つで、1年に3回花が咲き、花梗が三段に重なっている事からつけられた。花持ちが長く、公園や庭先などに年中咲いている。

花の色は数種あり、中でも鮮やかな紅色は沖縄の青い空に映えて美しい花である。

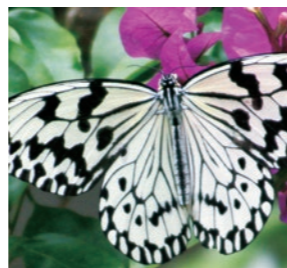


## うるま市の蝶

### オオゴマダラ

マダラチョウ科。日本最大の蝶といわれ、大きな羽をゆったり羽ばたかせながら、ふわふわと優雅に飛ぶ。

また、金色に輝く蛹も有名である。



## うるま市の木

### リュウキュウコクタン

カキノキ科。クロキ(方言名:クルチ)、ヤエヤマコクタンとも言われ、昔から三線の掉の材料として使われている。民家の庭木や街路樹等として人気のある木である。



## うるま市の魚

### マクブ

ペラ科。和名は、シロクラペラで成長すると体長が80cmにもなる。

青を主体とした美しい紋様の魚で、沖縄から西部太平洋地域に分布し、白身で美味である。

沖縄を代表する高級魚の一つである。



## うるま市の花木

### ユウナ

アオイ科。開花期は5月から10月。亜熱帯から熱帯にかけて分布し、沖縄では海岸沿いによく生えている。

花は鮮やかな黄色で、昔は樹皮からとれる繊維や葉っぱを利用するなど生活に密着した花木であった。現在でも潮害防止や防風林として活用されている。



## うるま市の貝

### トウカムリ

トウカムリガイ科。漢字では「唐冠貝」と書くように、中国の帽子に似ていることから名付けられた。成長すると体長が40cmにもなる大型の巻貝でヒトデ等を食することが知られており、うるま市の海域に生息している。また、昔から市内の聖域にある祠に祀られている。



## うるま市の鳥

### チャーン

琉球王朝時代に中国から沖縄にもたらされた鳴き声の美しい鳥である。王朝時代は、士族や王家の愛玩鳥で、戦争で絶滅の危機にあったが、奇跡的に合併前の具志川市(天願)と沖縄市(泡瀬)などで保護されていた。平成3年に沖縄県の指定文化財の指定を受けた貴重な鳥である。



## うるま市歌

～青雲澄みて～

作詞 知念仁照

補作詞 うるま市市歌検討委員会

作曲 普久原恒勇

J=100

あはれは さきな ひしが のんほ るを きし んの わび んつ につに  
 ちゆのら しま  
 せい あき のな みは せう ちよ せ て  
 いちか きい のき ないと みぶも はきす うとわ ちよが せちち ても  
 あみ やほ はし の てき らと すん こほ がね いな んち きう むまい  
 もと そに おお てき らと すん こほ がね いな んち きう むまい  
 たれの かしのみ ちちの はの じのち さの とみり もちぬ  
 せと いも うん とすき みと てりろ ひすか かすよ さゆあ すく  
 せと いも うん とすき みと てりろ ひすか かすよ さゆあ すく  
 ああ 二二 ああ 二二 うう るる まま しし にに  
 みはみ どなが 二二 りがは 二二 もきえ 二二 えくる

## 市民音頭

- 一 サアー 太陽輝く 珊瑚の海に  
煌めく緑 照り映える  
マクブ モズクに 海の幸  
恵み豊かに いつの世も  
うるま市 良いとこ 美らまちよ  
暮らす嬉しさ 笑顔咲く
- 二 サアー クルチの風に チャーンが歌う  
明るい明日の 夢の歌  
蝶も踊るよ あでやかに  
ユウナ花咲く 空に舞う  
うるま市 良いとこ 煌めいて  
御万人魂 情咲く
- 三 サアー 中城 金武湾 パノラマ眺め  
世界遺産は 勝連城  
三線や太鼓に うたのせて  
踊る音頭が 明日を呼ぶ  
うるま市 良いとこ 美らまちよ  
歴史文化の ロマン咲く
- 四 サアー 人も自然も きらきら光り  
幸せ創る ふるさとよ  
老いも若きも 賑やかに  
心一つに 輪になって  
うるま市 良いとこ 煌めいて  
永遠に 榮える 花が咲く

## まちの情報をLINEでも。

無料 FREE  
LINE うるま市  
公式LINEアカウント

「うるま市公式LINE」は、  
行政情報やイベント情報など生活に  
役立つ情報を発信しております。



QRコードからお友達追加

お問合せ うるま市役所 秘書広報課  
☎973-5079

# うるま市マップ

サンゴ礁に囲まれた美しいまち、それが「うるま市」。  
 沖縄本島の中部に位置し、  
 緑あふれる町並みと  
 10の島々からなる  
 とても魅力的なまちです。



沖縄全体  
マップ

うるま市

那覇空港



## うるま市市勢要覧2023

---

---

発行日 / 2023年1月  
発行所 / うるま市 企画部 秘書広報課  
〒904-2292 沖縄県うるま市みどり町一丁目1番1号  
TEL.098-974-3111(代)  
<https://www.city.uruma.lg.jp/>  
制作・印刷 / 株式会社 東洋企画印刷

---